

令和2年度
第2回 都島区民アンケート結果
(防災、防犯、マナー向上、広報誌・ホームページ・SNS)

令和3年4月

大阪市都島区役所

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 調査の概要 | |
| 1-1. 調査目的 | 1 |
| 1-2. 調査方法 | 1 |
| 1-3. 調査内容 | 1 |
| 1-4. 配布・回収結果 | 2 |
| 1-5. 調査結果の見方 | 2 |
| 1-6. 標本誤差 | 2 |
| 1-7. 母集団の代表性 | 3 |
| 2. アンケートの結果（ダイジェスト） | 4 |
| 3. アンケートの結果 | |
| 3-1. 防災について | |
| 1. 防災・減災の日頃からの意識 | 6 |
| 2. 「都島区防災マップ」「都島区水害ハザードマップ」の認知度 | 7 |
| 3. 災害が起きた時の避難場所の認知度 | 8 |
| 4. 在宅避難が困難時に避難する場所の認知度 | 9 |
| 5. 災害時の備えが必要の意識 | 13 |
| 6. 災害の備えの実行度 | 14 |
| 7. 個別の災害の備えに対する意識 | 15 |
| 8. 備えをしていない理由 | 24 |
| 9. 助け合い（共助）の重要性 | 25 |
| 10. 防災活動の参加 | 26 |
| 3-2. 防犯について | |
| 11. 防犯啓発の取り組み | 27 |
| 12. 普段から意識して取り組む防犯対策 | 28 |
| 13. 今後、防犯対策に重点をおく項目 | 29 |
| 3-3. マナー向上について | |
| 14. 交通ルールや交通マナーの啓発活動の取り組み意識 | 30 |
| 15. 交通安全対策推進が必要な項目 | 31 |
| 16. マナー啓発に対する意識 | 32 |
| 17. 環境美化意識を高めるための啓発活動 | 33 |
| 18. 京橋地区の路上喫煙禁止地区に対する認知度 | 34 |
| 19. 京橋地区の喫煙マナー向上に対する意識 | 35 |
| 20. 京橋地区の喫煙マナー啓発などの取り組みに対する意識 | 36 |
| 3-4. 広報誌・ホームページ・SNS | |
| 21. 区役所からの情報の入手先 | 37 |
| 22. 広報誌に対する感想 | 38 |
| 23. 広報誌の記事の読みやすさ | 41 |
| 24. 都島区のホームページやSNSに対する意見 | 44 |
| 25. 区民の意見やニーズを伝える方法の認知度 | 45 |
| 3-5. 自由意見 | 46 |

1. 調査の概要

1-1. 調査目的

都島区役所では、取組の成果を定期的にチェックするため、幅広い区民の皆様の評価やご意見をお聞きしています。

今回のテーマは、「防災」、「防犯」、「マナー向上」、「広報誌・ホームページ・SNS」です。

1-2. 調査方法

調査区域：都島区全域

調査対象：住民基本台帳および外国人登録から無作為抽出をした都島区民 1,500 人

回答者数：580 人

回答率：38.7%

調査時期：令和3年1月

調査方法：郵送による配布・回収及び大阪市行政オンラインシステムによるアンケート

1-3. 調査内容

アンケート調査の内容は、以下のとおりです。

■アンケート調査の項目

| | |
|--|---|
| 1. 防災について 問1 防災・減災の日頃からの意識 問2 「都島区防災マップ」「都島区水害ハザードマップ」の認知度 問3 災害が起きた時の避難場所の認知度 問4 在宅避難が困難時に避難する場所の認知度 問5 災害時の備えが必要の意識 問6 災害の備えの実行度 問7 個別の災害の備えに対する意識 問8 備えをしていない理由 問9 助け合い（共助）の重要性 問10 防災活動の参加 | 問17 環境美化意識を高めるための啓発活動 問18 京橋地区の路上喫煙禁止地区に対する認知度 問19 京橋地区の喫煙マナー向上に対する意識 問20 京橋地区の喫煙マナー啓発などの取り組みに対する意識 |
| 2. 防犯について 問11 防犯啓発の取り組み 問12 普段から意識して取り組む防犯対策 問13 今後、防犯対策に重点をおく項目 | 4. 広報誌・ホームページ・SNS 問21 区役所からの情報の入手先 問22 広報誌に対する感想 問23 広報誌の記事の読みやすさ 問24 都島区のホームページやSNSに対する意見 問25 区民の意見やニーズを伝える方法の認知度 問26 今回のテーマに対する意見（自由意見） |
| 3. マナー向上について 問14 交通ルールや交通マナーの啓発活動の取り組み意識 問15 交通安全対策推進が必要な項目 問16 マナー啓発に対する意識 | 5. 属性 A. 性別 B. 年齢 C. お住まいの地域 D. 居住年数 E. 高校生以下の子どもの子育て有無 |

1-4. 配布・回収結果

配布・回収結果を示したものが下表です。

■配布・回収結果

| | | アンケート送付数 | | | 回答者数 | | | | | 回答率 (a/b) (%) |
|----|-------|----------|-----|-------|------|-----|---------------|-----|-------|---------------------|
| | | 男性 | 女性 | 合計(a) | 男性 | 女性 | その他・ 回答しない | 無回答 | 合計(b) | |
| 年代 | 20代以下 | 117 | 107 | 224 | 21 | 38 | 2 | 0 | 61 | 27.2 |
| | 30代 | 118 | 140 | 258 | 19 | 64 | 1 | 0 | 84 | 32.6 |
| | 40代 | 127 | 115 | 242 | 40 | 49 | 4 | 0 | 93 | 38.4 |
| | 50代 | 109 | 122 | 231 | 36 | 47 | 2 | 0 | 85 | 36.8 |
| | 60代 | 93 | 112 | 205 | 43 | 71 | 1 | 0 | 115 | 56.1 |
| | 70代以上 | 145 | 195 | 340 | 55 | 75 | 0 | 1 | 131 | 38.5 |
| | 無回答 | - | - | - | 1 | 4 | 2 | 4 | 11 | - |
| 合計 | | 709 | 791 | 1,500 | 215 | 348 | 12 | 5 | 580 | 38.7 |

1-5. 調査結果の見方

- ・回答結果の割合「%」は、小数点以下第1位を四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、回答は選択肢の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・図表中の「n」（サンプル数）は有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。

1-6. 標本誤差

(1) 信頼区間

今回の調査は標本調査ですので、標本による測定値(調査の結果)に基づいて、母集団値を推定できます。信頼度95%で推定した場合の信頼区間1/2幅(標本誤差)は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

■性別・年代別 回答比率ごとの標本誤差

(単位：%)

| | 回答比率(P) | 5% | 10% | 15% | 20% | 25% | 30% | 35% | 40% | 45% | 50% |
|-------|---------|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 95% | 90% | 85% | 80% | 75% | 70% | 65% | 60% | 55% | 50% |
| 全体 | 580 | 1.8 | 2.4 | 2.9 | 3.3 | 3.5 | 3.7 | 3.9 | 4.0 | 4.0 | 4.1 |
| 男性 | 215 | 2.9 | 4.0 | 4.8 | 5.3 | 5.8 | 6.1 | 6.4 | 6.5 | 6.7 | 6.7 |
| 女性 | 348 | 2.3 | 3.2 | 3.8 | 4.2 | 4.5 | 4.8 | 5.0 | 5.1 | 5.2 | 5.3 |
| 20代以下 | 61 | 5.5 | 7.5 | 9.0 | 10.0 | 10.9 | 11.5 | 12.0 | 12.3 | 12.5 | 12.5 |
| 30代 | 84 | 4.7 | 6.4 | 7.6 | 8.6 | 9.3 | 9.8 | 10.2 | 10.5 | 10.6 | 10.7 |
| 40代 | 93 | 4.4 | 6.1 | 7.3 | 8.1 | 8.8 | 9.3 | 9.7 | 10.0 | 10.1 | 10.2 |
| 50代 | 85 | 4.6 | 6.4 | 7.6 | 8.5 | 9.2 | 9.7 | 10.1 | 10.4 | 10.6 | 10.6 |
| 60代 | 115 | 4.0 | 5.5 | 6.5 | 7.3 | 7.9 | 8.4 | 8.7 | 9.0 | 9.1 | 9.1 |
| 70代以上 | 131 | 3.7 | 5.1 | 6.1 | 6.8 | 7.4 | 7.8 | 8.2 | 8.4 | 8.5 | 8.6 |

例えば、問1の「防災・減災の日頃からの意識」の結果を見ると、『肯定的意見の割合』（「意識している」＋「どちらかと言えば意識している」）は男性81%で、ここから導き出される標本誤差の数値は、表にある最も近い値(80%)の『男性』の標本誤差の数値「5.3%」です。

つまり、母集団を対象にこの調査を行なったところ、「肯定的意見の割合」の男性が81%の前後5.3%の区間内、すなわち75.7%~86.3%の区間内にあることが95%の確率で期待されるということを意味しています。

1-7. 母集団の代表性

(1) 母集団の男女間・各年齢区分間の割合と比べた回答率の偏り

母集団の男女間・各年齢区分間の割合と比べた回答率の偏りをみる数値(P値)を、分散分析によって算出し、有意水準5%で検証しています。

有意水準=偏りがあるかどうかを決める基準となる確率のことで事前に設定します。

(今回は有意水準を5%で設定しています。)

※P値が有意水準5%以上であれば、回答率に偏りがあるとは言えないと判断します。

※P値が有意水準5%未満であれば、回答率に偏りがあると判断します。

■母集団の大きさ (N)

(単位：人)

| | 18歳～29歳 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 合計 |
|----|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 男性 | 7,124 | 7,238 | 8,144 | 6,710 | 5,881 | 8,025 | 43,122 |
| 女性 | 7,516 | 7,453 | 8,231 | 7,064 | 6,233 | 11,347 | 47,844 |

■有効回答者数 (n)

(単位：人)

| | 18歳～29歳 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 合計 |
|----|---------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| 男性 | 21 | 19 | 40 | 36 | 43 | 55 | 214 |
| 女性 | 38 | 64 | 49 | 47 | 71 | 75 | 344 |

■有効回答者数の母集団の大きさに対する割合 (n/N)

(単位：%)

| | 18歳～29歳 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 合計 |
|----|---------|------|------|------|------|-------|------|
| 男性 | 0.29 | 0.26 | 0.49 | 0.54 | 0.73 | 0.69 | 0.50 |
| 女性 | 0.51 | 0.86 | 0.60 | 0.67 | 1.14 | 0.66 | 0.72 |

■回答率の偏りを見る数値 (P値)

| | |
|--------------|----|
| 男女間におけるP値 | 3% |
| 各年齢区分間におけるP値 | 3% |

男女間の値3%：P値が有意水準5%未満なので、回答率に偏りがあると判断します。

各年齢区分間のP値3%：P値が有意水準5%未満なので、回答率に偏りがあると判断します。

2. アンケートの結果（ダイジェスト）

2-1. 防災について（問1～問10）

- ・防災・減災について日頃から“意識している”（「意識している」＋「どちらかと言えば意識している」）人は、80%で約8割となっている。
- ・在宅避難が困難時に避難する場所の認知度については、（1）一時避難場所を「知っている」が67%、（2）災害時避難所が82%、（3）広域避難場所が58%、（4）津波避難ビルが47%と被災内容によって最大35ポイントの差があった。
- ・災害時の備えが必要であると“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）人は、90%で約9割となっている。

2-2. 防犯について（問11～問13）

- ・防犯啓発の取り組みが防犯意識の向上につながると“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）人は、82%で8割以上となっている。
- ・今後、区民が重点をおく防犯対策は、「防犯カメラの設置（補助）」が73%で約7割となっている。

2-3. マナー向上について（問14～問20）

- ・交通ルールや交通マナーの啓発活動の取り組みが交通事故防止につながっていると“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）人は、63%で6割以上となっている。
- ・京橋地区の路上喫煙禁止地区を“知っている”（「禁止地区の範囲まで知っている」＋「知っているが範囲まではわからない」）人は、61%で6割以上となっている。

2-4. 広報誌・ホームページ・SNS（問21～問25）

- ・区役所からの情報を「区広報誌「広報みやこじま」」で入手している人は、81%で8割以上となっている。
- ・広報誌の「内容がよかった」と感じた人は、59%で6割弱、その内の80%の人が「お知らせ・イベント案内」がよかったと感じている。
- ・都島区のホームページやSNSを「見ないのでわからない」人は、46%で5割弱となっている。『60代以上』では54%と5割を超え、年代が上がるにつれて見ていない人の割合が高くなっている。

2-5. 自由意見について（問 26）

自由意見については、合計 127 件のご意見をいただきました。

その内容は以下の通りとなります。

- ①防災・防犯・マナー向上（70 件）
- ②広報誌・ホームページ・SNS（26 件）
- ③職員の対応窓口サービスについて（5 件）
- ④市政区政について（13 件）
- ⑤区民アンケートについて（4 件）
- ⑥その他（9 件）

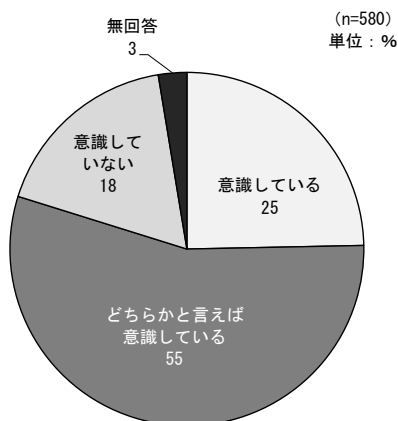
①防災・防犯・マナー向上についてのご意見が圧倒的に多く、区民の関心の高さが伺えます。その内容からは現在の都島区の課題、区民性、行政に対する要望等が顕著に現れています。

3. アンケートの結果

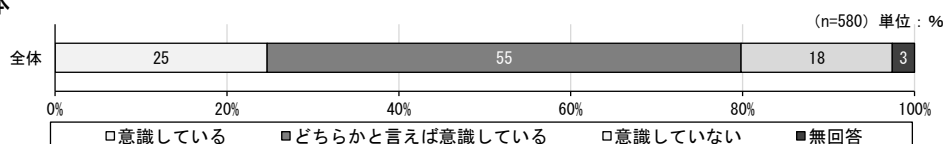
3-1. 防災について

問1 南海トラフ巨大地震が今後30年以内に発生する率は、70~80%と言われています。日頃から、防災・減災について意識していますか。（1つだけ選んでください）

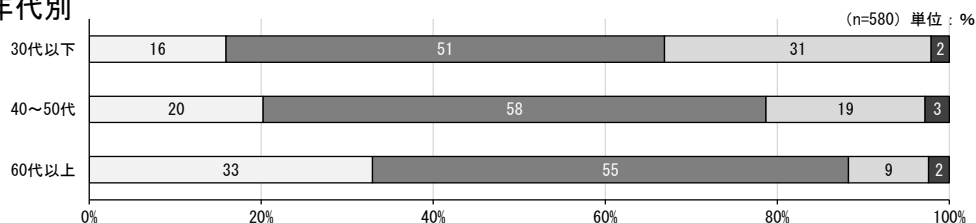
●防災・減災の日頃からの意識（単数回答）



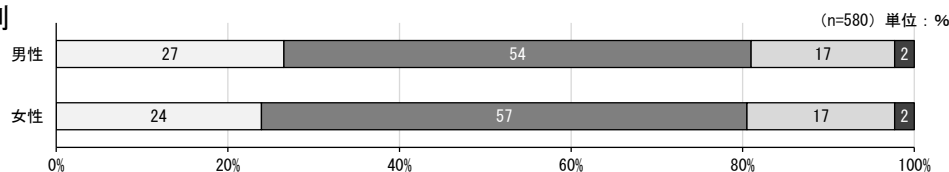
■全体



■年代別



■性別

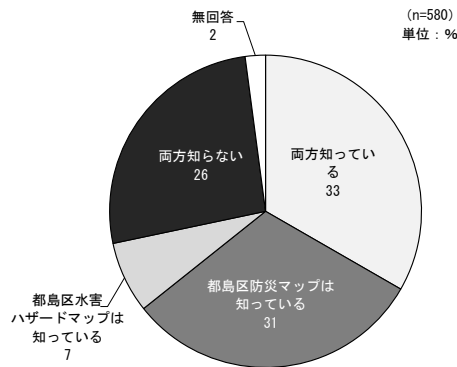


「意識している」「どちらかと言えば意識している」の割合は約8割

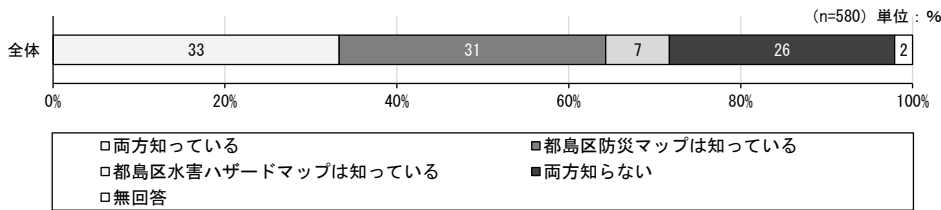
- ・防災・減災の日頃からの意識についてみると、“意識している”（「意識している」+「どちらかと言えば意識している」）が80%と約8割となっている。
- ・年代別にみると、年代が上がるにつれて「意識している」が高い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも同様の傾向となっている。

問2 避難所などを記載した「都島区防災マップ」や浸水想定を記載した「都島区水害ハザードマップ」をご存じですか。（1つだけ選んでください）

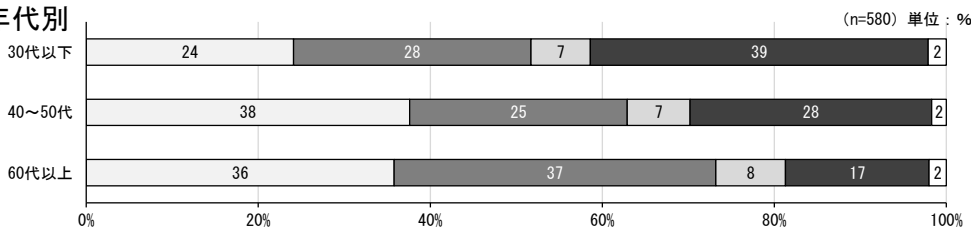
●「都島区防災マップ」「都島区水害ハザードマップ」の認知度（単数回答）



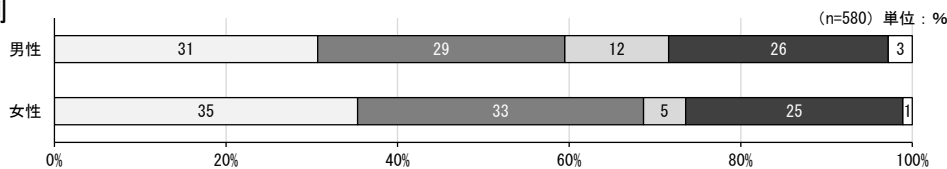
■全体



■年代別



■性別

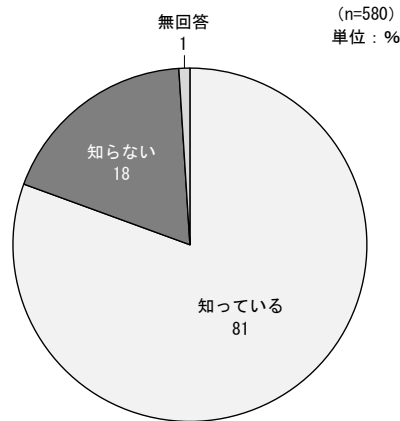


「両方知っている」の割合は約3割

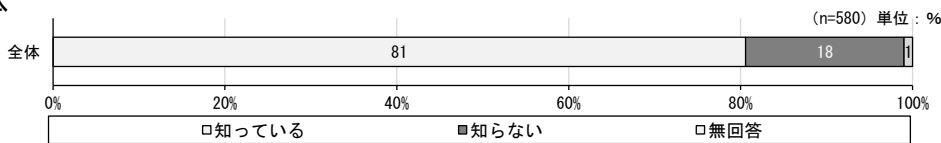
- ・「都島区防災マップ」「都島区水害ハザードマップ」の認知度についてみると、「両方知っている」が33%と最も高く、次いで「都島区防災マップは知っている」が31%、「両方知らない」が26%の順となっている。
- ・年代別にみると、年代が下がるにつれて「両方知らない」が高い傾向にある。
- ・性別にみると、『男性』の「都島区水害ハザードマップは知っている」が高い傾向にある。

問3 災害が起きた時に避難する場所を知っていますか。（1つだけ選んでください）

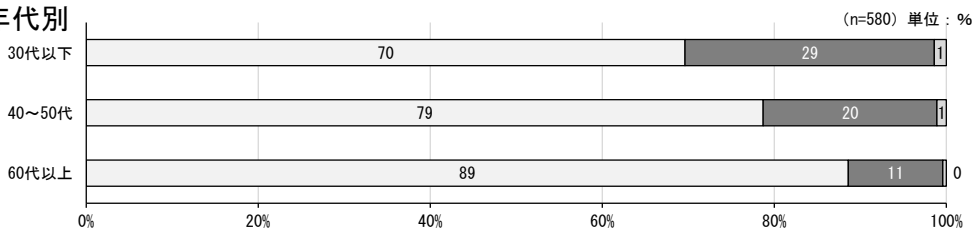
●災害が起きた時の避難場所の認知度（単数回答）



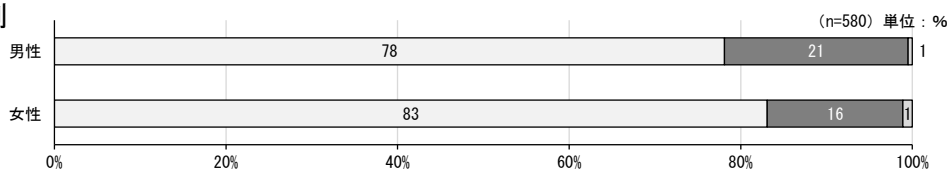
■全体



■年代別



■性別



「知っている」の割合は約8割

- ・災害が起きた時の避難場所の認知度についてみると、「知っている」が81%と8割以上となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代にかけて「知っている」が7割以上となっている。
- ・性別にみると、男女とも「知っている」が7割以上となっている。

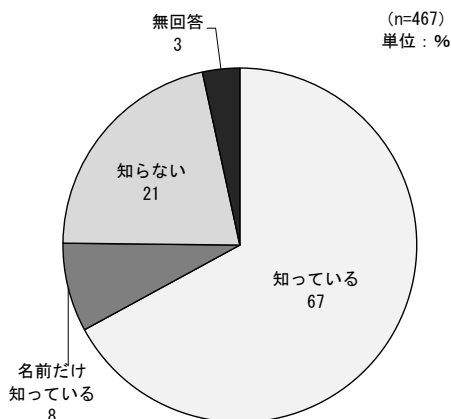
問3で「1知っている」と回答された方へおたずねします。

問4 新型コロナ禍で災害が発生した場合、在宅避難が安全であれば自宅や親戚等の家など分散避難を推奨しています。

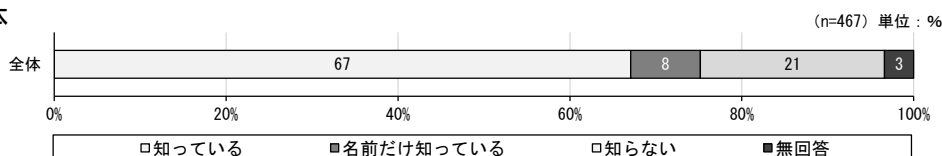
在宅避難が困難な場合、避難する場所を知っていますか。それぞれあてはまる数字を1つだけまる（○）で囲んでください。

●在宅避難が困難時に避難する場所の認知度（単数回答）

1. 一時避難場所（一時的に避難する公園、広場など）



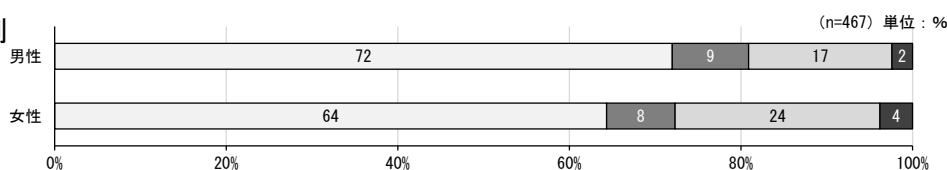
■全体



■年代別



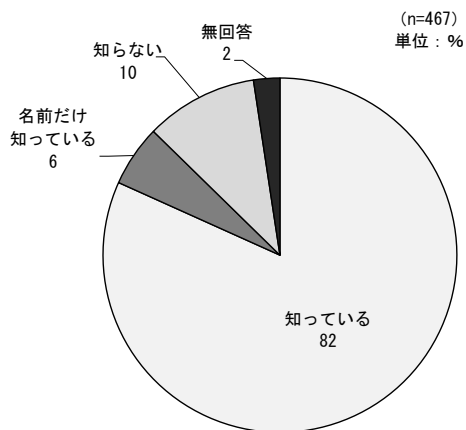
■性別



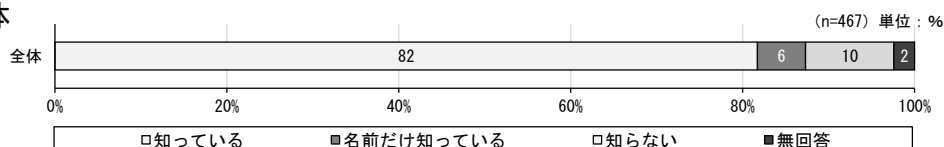
「知っている」「名前だけ知っている」の割合は7割半

- ・一時避難場所の認知度についてみると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が75%と7割以上となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「知っている」が75%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、『男性』の「知っている」が72%と『女性』と比べて高い傾向にある。

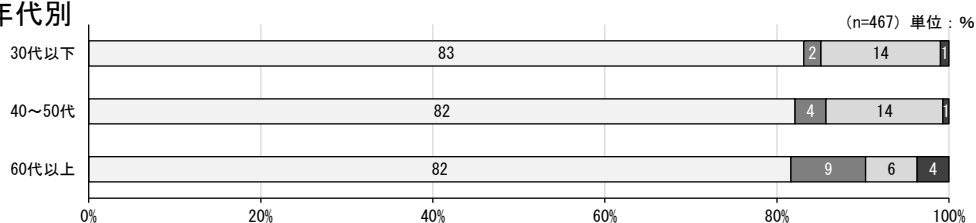
2. 災害時避難所（住居を失った場合に避難生活を送る学校の体育館など）



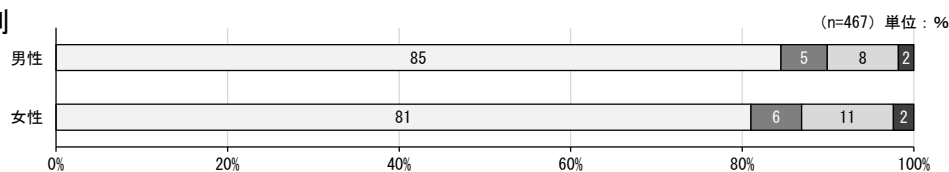
■全体



■年代別



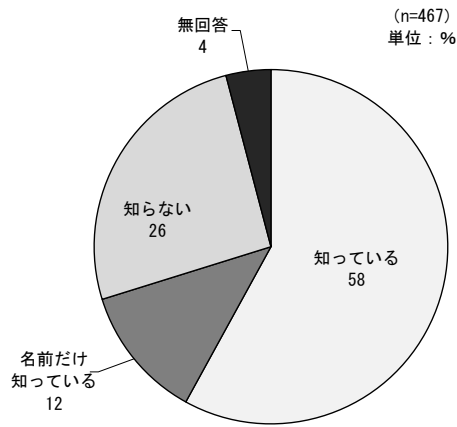
■性別



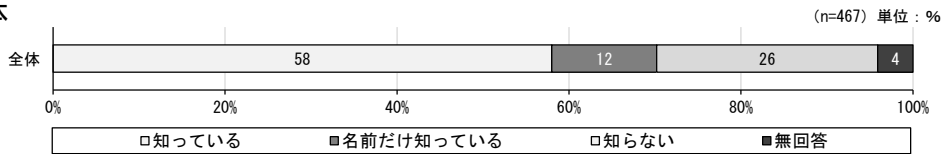
「知っている」「名前だけ知っている」の割合は約9割

- ・災害時避難所の認知度についてみると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が88%と8割以上となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代にかけて全体と同様の傾向となっている。
- ・性別にみると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

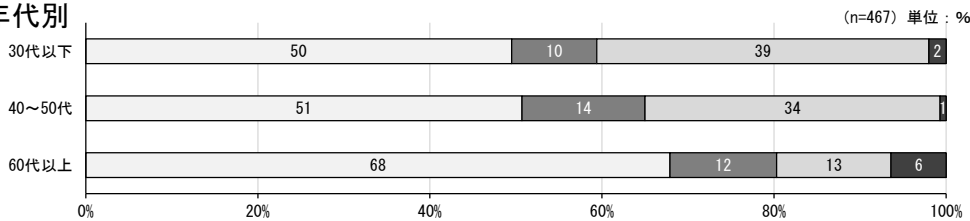
3. 広域避難場所（地震で大火災になっている場合に避難する淀川河川敷公園や大阪城公園など）



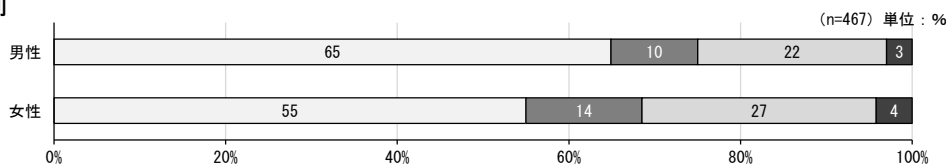
■全体



■年代別



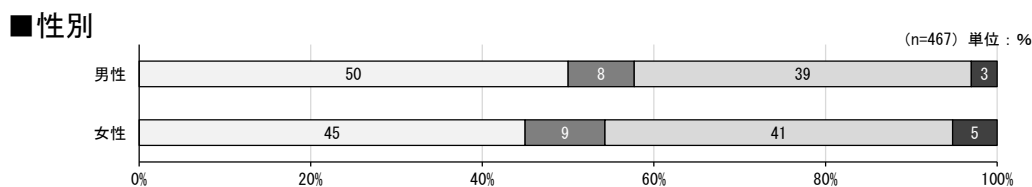
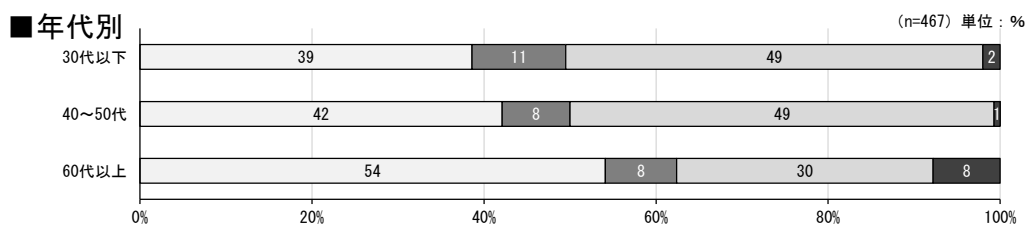
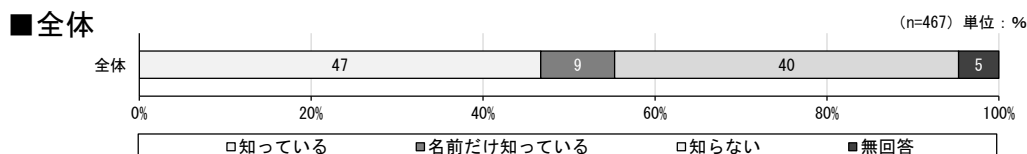
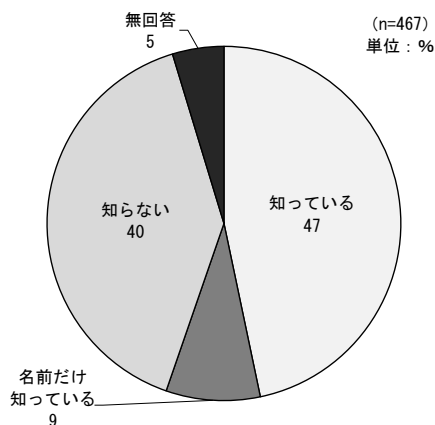
■性別



「知っている」「名前だけ知っている」の割合は約7割

- ・広域避難場所の認知度についてみると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が70%と約7割となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「知っている」が68%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、『男性』の「知っている」が65%と『女性』と比べて高い傾向にある。

4. 津波避難ビル（津波の襲来時に一時的に避難する学校や指定された建物など）

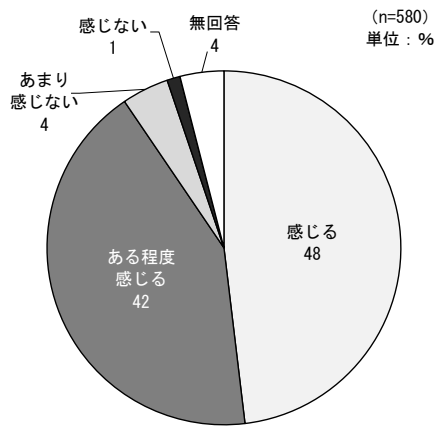


「知っている」「名前だけ知っている」の割合は約6割

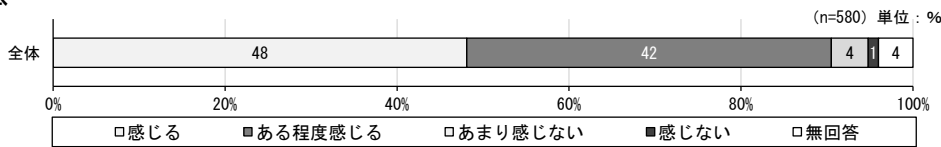
- ・津波避難ビルの認知度についてみると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が56%と半数以上となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「知っている」が54%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも同様の傾向となっている。

問5 区役所では、防災マップや区広報誌などにより防災啓発を実施していますが、日頃からの災害時の備えが必要であると感じますか。（1つだけ選んでください）

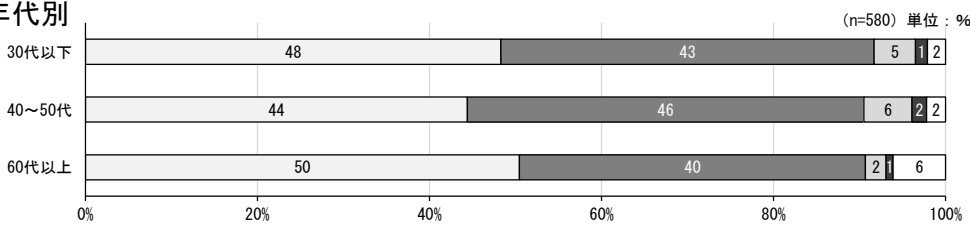
●災害時の備えが必要の意識（単数回答）



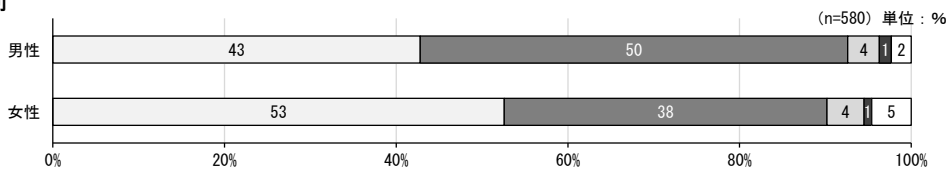
■全体



■年代別



■性別

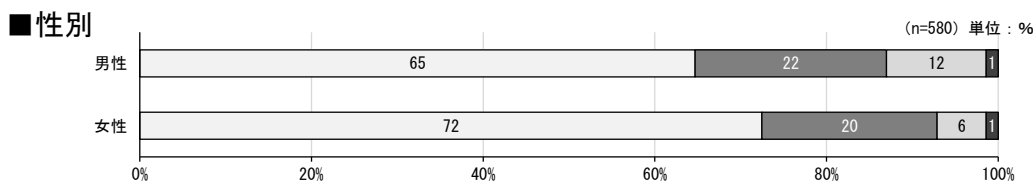
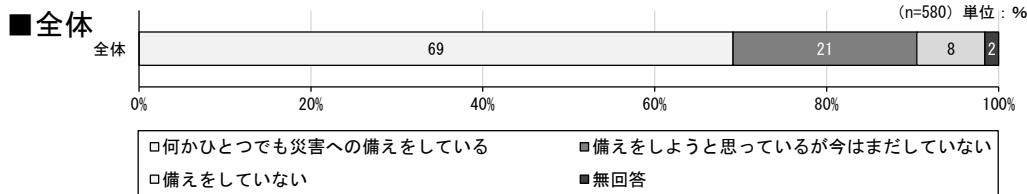
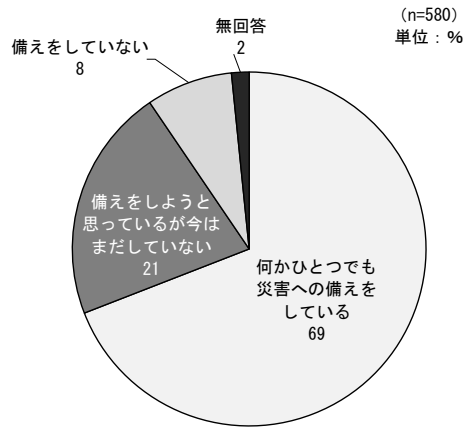


「感じる」「ある程度感じる」の割合は約9割

- ・災害時の備えが必要の意識についてみると、“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が90%と約9割となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代にかけて“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が9割以上となっている。
- ・性別にみると、男女とも“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が9割以上となっている。

問6 防災・減災には日頃からの備えが大切です。食料の備蓄、家具の固定、家族との連絡方法の確認など何かひとつでも災害の備えを行っていますか。（1つだけ選んでください）

●災害の備えの実行度（単数回答）



「何かひとつでも災害への備えをしている」の割合は約7割

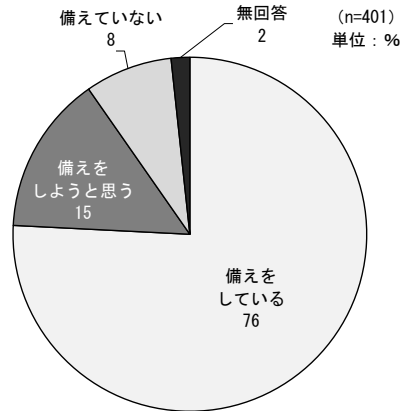
- ・災害の備えの実行度についてみると、「何かひとつでも災害への備えをしている」が69%と6割以上となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「何かひとつでも災害への備えをしている」が74%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、『女性』の「何かひとつでも災害への備えをしている」が72%と『男性』と比べて高い傾向にある。

問6で「1何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。

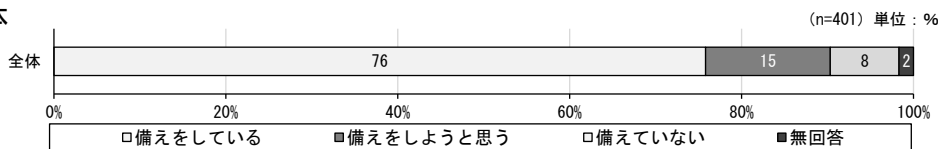
問7 災害の備えについて、それぞれあてはまる数字を1つだけまる（○）で囲んでください。

●個別の災害の備えに対する意識（単数回答）

1. 水・食料などの備蓄をしている（多めに買って災害時に備える）



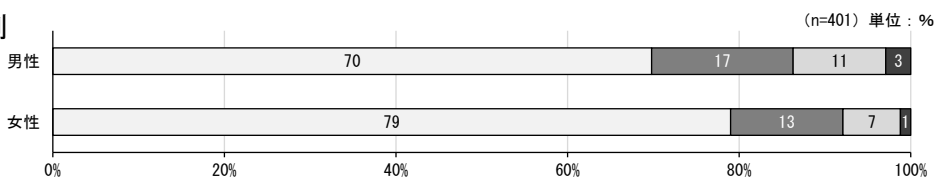
■全体



■年代別



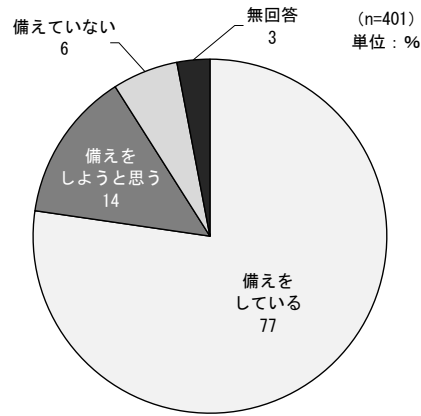
■性別



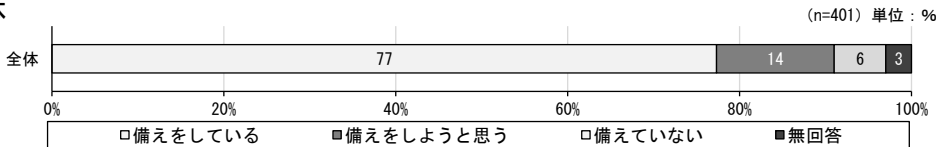
「備えをしている」の割合は約8割

- ・水・食料などの備蓄をしている割合についてみると、「備えをしている」が76%と7割以上となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』の「備えをしている」が69%と他の年代と比べて低くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の「備えをしている」が79%と『男性』と比べて高い傾向にある。

2. マスク、体温計、除菌スプレーなど感染症防止用品を用意している



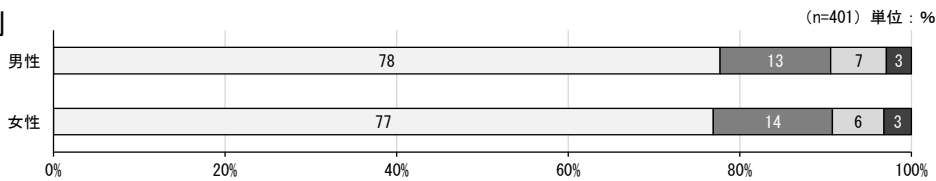
■全体



■年代別



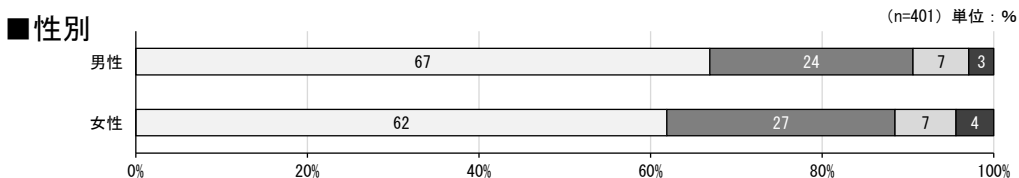
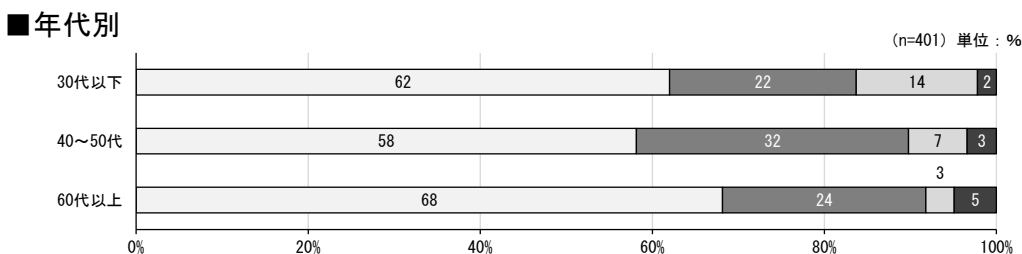
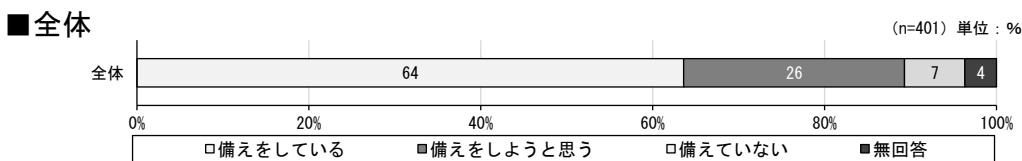
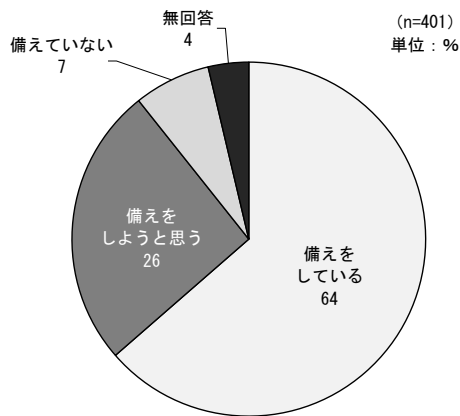
■性別



「備えをしている」の割合は約8割

- ・マスク、体温計、除菌スプレーなど感染症防止用品を用意している割合についてみると、「備えをしている」が77%と7割以上となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「備えをしている」が82%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも同様の傾向となっている。

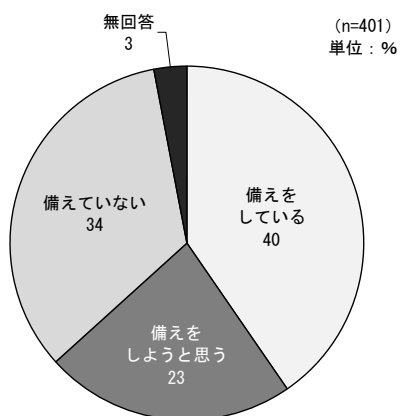
3. 災害時に必要となる用品（懐中電灯、携帯ラジオ、常備薬など）をすぐに持ち出せるように準備している



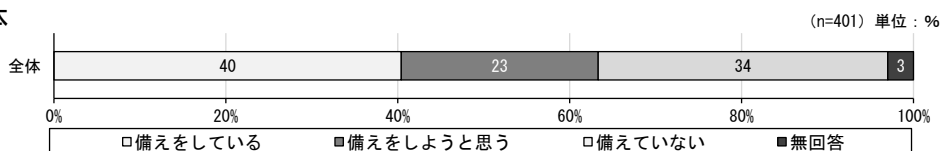
「備えをしている」の割合は約6割

- ・災害時に必要となる用品をすぐに持ち出せるように準備している割合についてみると、「備えをしている」が64%と6割以上となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「備えをしている」が68%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、『男性』の「備えをしている」が67%と『女性』と比べて高い傾向にある。

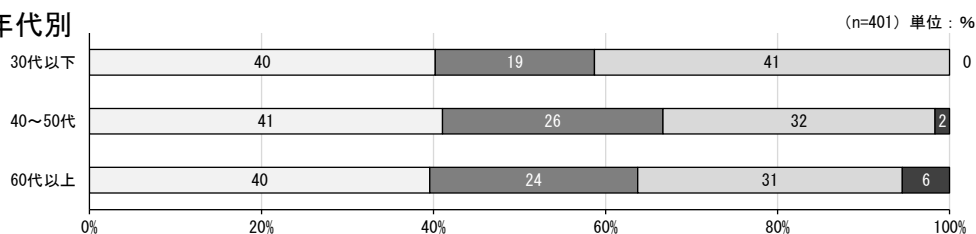
4. 家具・テレビなどを固定している（家具の配置の工夫も含む）



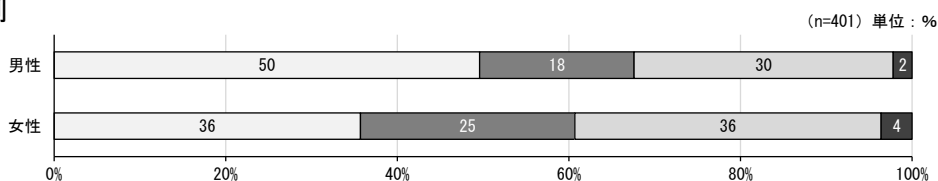
■全体



■年代別



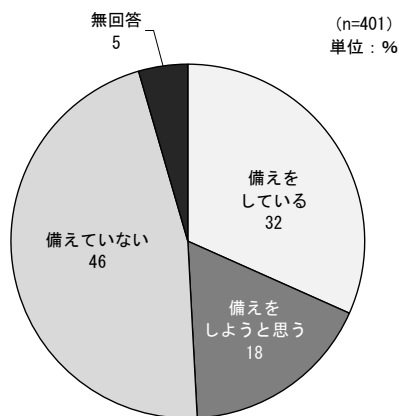
■性別



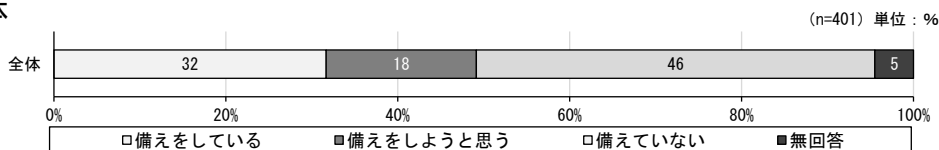
「備えをしている」の割合は約4割

- ・家具・テレビなどを固定している割合についてみると、「備えをしている」が40%と約4割となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』の「備えていない」が41%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、『男性』の「備えをしている」が50%と『女性』と比べて高い傾向にある。

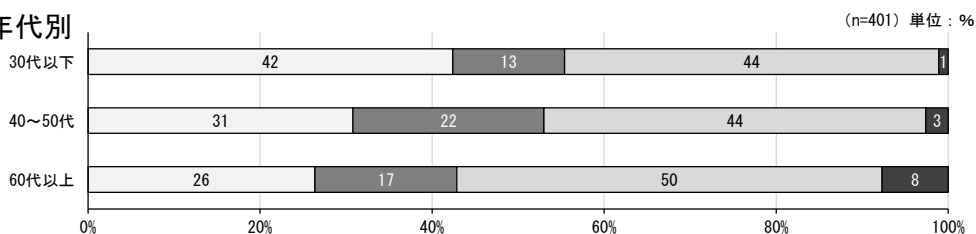
5. 簡易トイレを用意している（使い捨てトイレを含む）



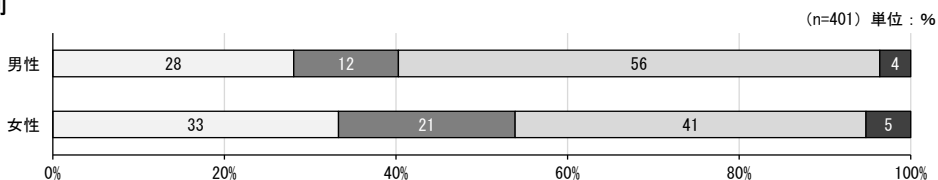
■全体



■年代別



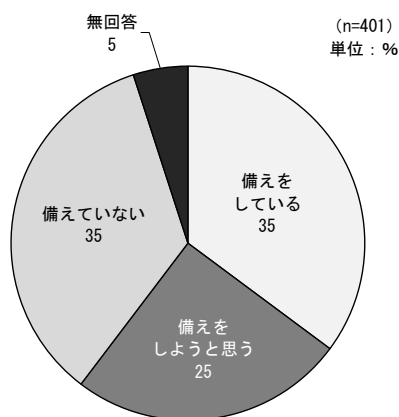
■性別



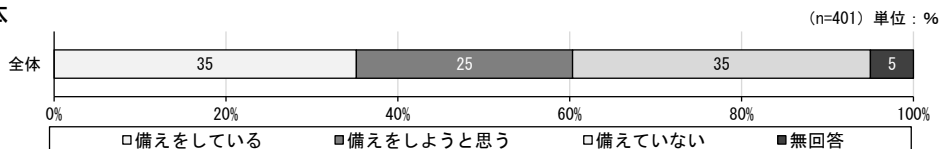
「備えていない」の割合は約半数

- ・簡易トイレを用意している割合についてみると、「備えていない」が46%と4割以上となっている。
- ・年代別にみると、年代が下がるにつれて「備えている」が高い傾向にある。
- ・性別にみると、『女性』の「備えている」が33%と『男性』と比べて高い傾向にある。

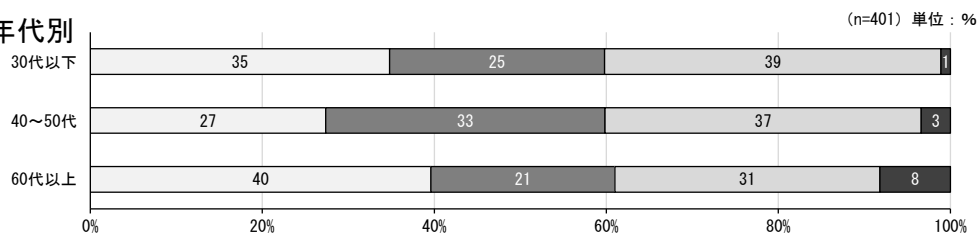
6. 家族が落ち合う場所を決めている



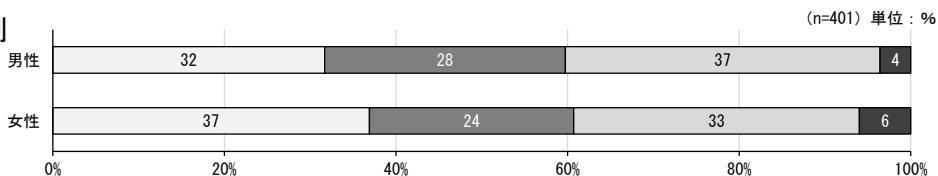
■全体



■年代別



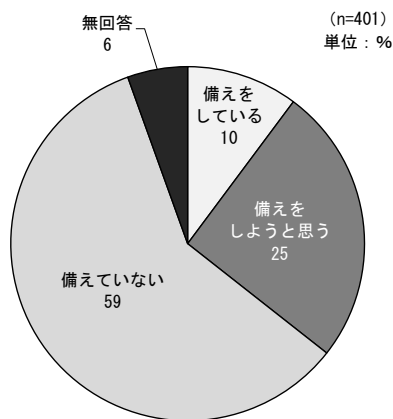
■性別



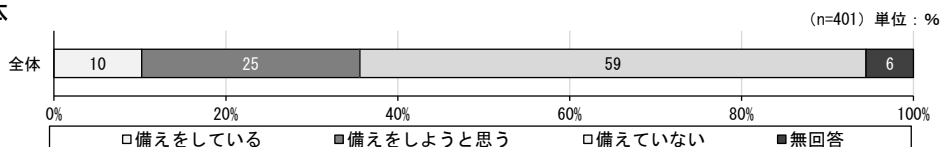
「備えをしている」の割合は3割半

- ・家族が落ち合う場所を決めている割合についてみると、「備えをしている」が35%と3割以上となっている。
- ・年代別にみると、『40~50代』の「備えをしている」が27%と他の年代と比べて低い傾向にある。
- ・性別にみると、『女性』の「備えをしている」が37%と『男性』と比べて高い傾向にある。

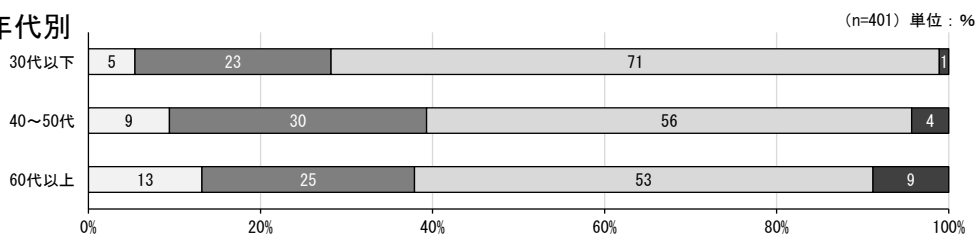
7. 災害用伝言ダイヤル（171）の使い方を家族で共有している



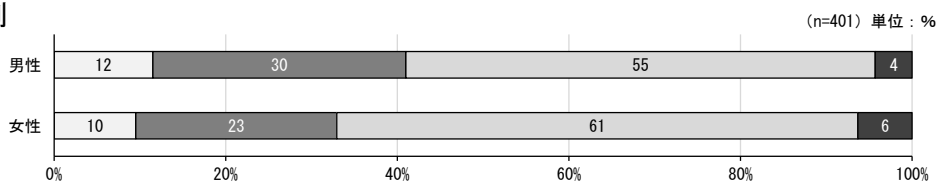
■全体



■年代別



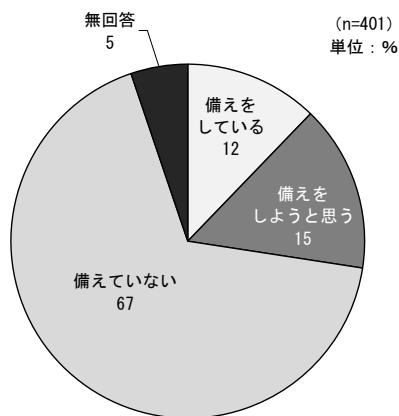
■性別



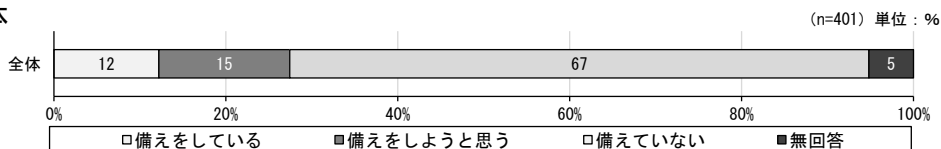
「備えていない」の割合は約6割

- ・災害用伝言ダイヤル（171）の使い方を家族で共有している割合についてみると、「備えていない」が59%と5割以上となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』の「備えていない」が71%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、『女性』の「備えていない」が61%と『男性』と比べて高い傾向にある。

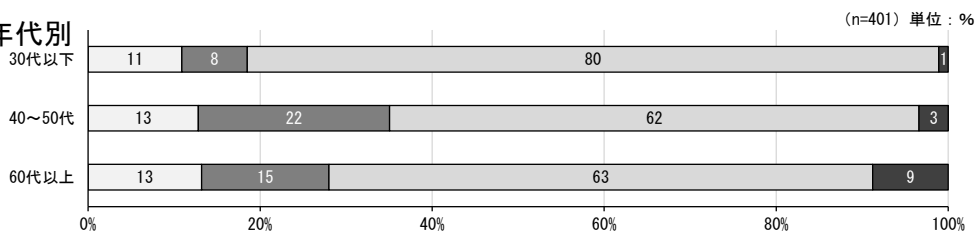
8. 『大阪市防災アプリ』をスマートフォンにダウンロードしている



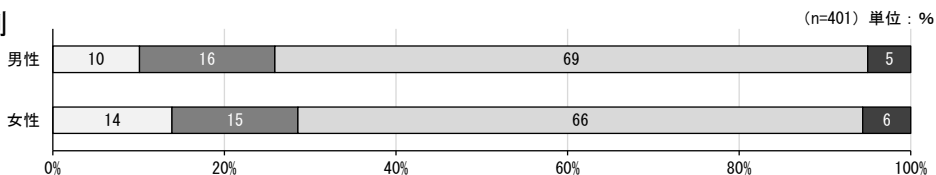
■全体



■年代別



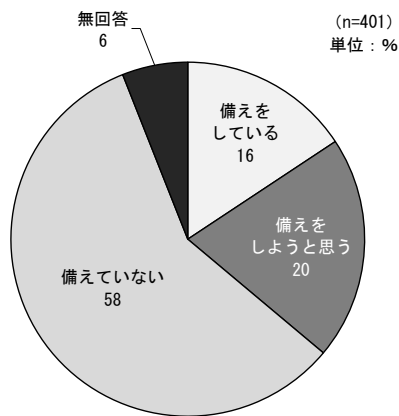
■性別



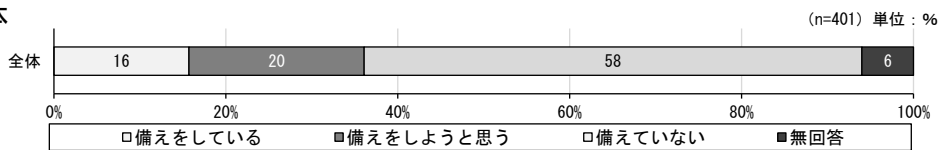
「備えていない」の割合は約7割

- ・『大阪市防災アプリ』をスマートフォンにダウンロードしている割合についてみると、「備えていない」が67%と6割以上となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』の「備えていない」が80%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、『女性』の「備えをしている」が14%と『男性』と比べてやや高い傾向にある。

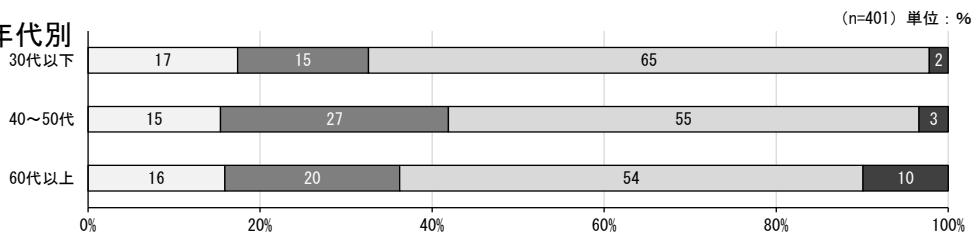
9. 大阪市や都島区のホームページ・Facebook・Twitterなどで災害情報を見られるようにしている



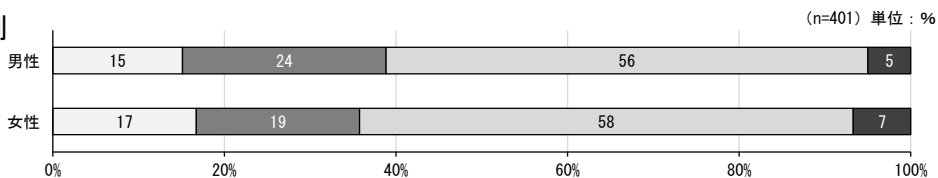
■全体



■年代別



■性別



「備えていない」の割合は約6割

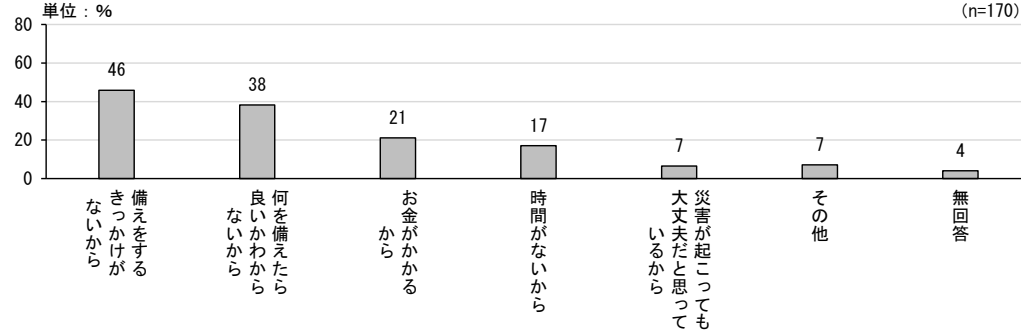
- ・大阪市や都島区のホームページ・Facebook・Twitterなどで災害情報を見られるようにしている割合についてみると、「備えていない」が58%と半数以上となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』の「備えていない」が65%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、『男性』の「備えをしようと思う」が24%と『女性』と比べてやや高い傾向にある。

問6で「備えをしようと思っているが今はまだしていない」「備えをしていない」と回答した方におたずねします。

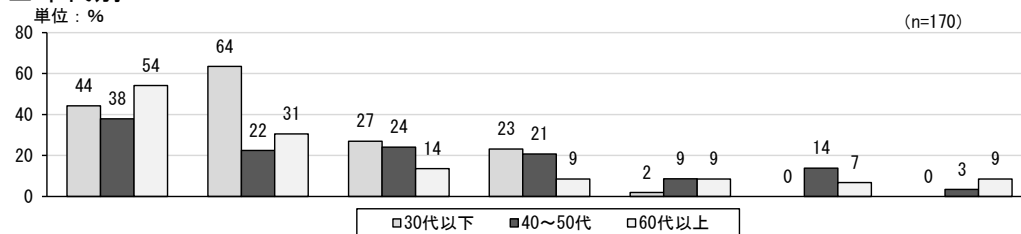
問8 備えをしていない理由として当てはまるものをお答えください。
(いくつでも選んでください)

●備えをしていない理由（複数回答）

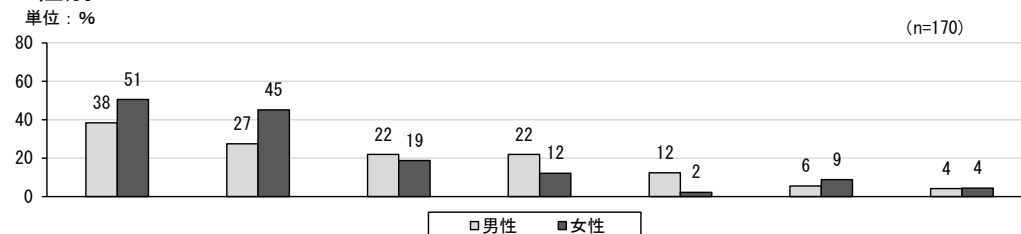
■全体



■年代別



■性別

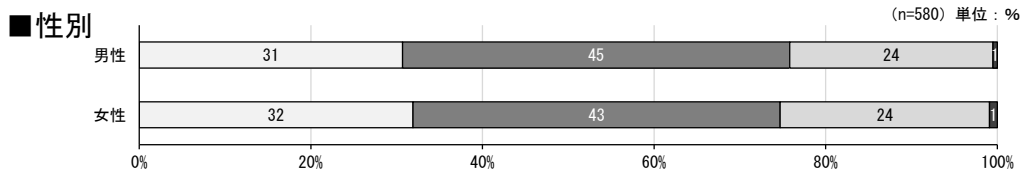
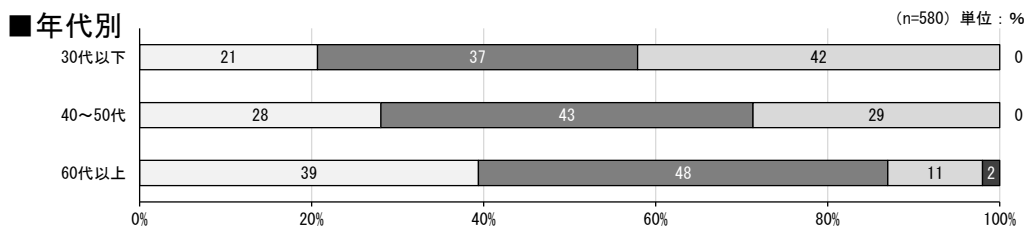
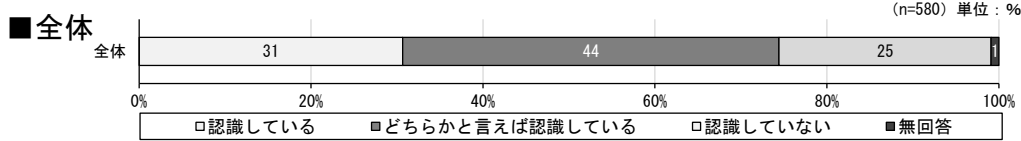
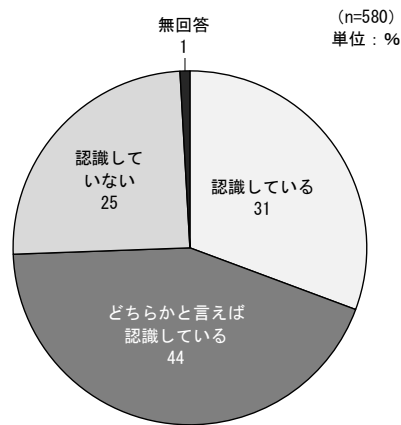


「備えをするきっかけがないから」の割合が最も高く約半数

- ・ 備えをしていない理由についてみると、「備えをするきっかけがないから」が46%と最も高く、次いで「何を備えたら良いかわからないから」が38%、「お金がかかるから」が21%の順となっている。
- ・ 年代別にみると、『30代以下』の「何を備えたら良いかわからないから」が64%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・ 性別にみると、『女性』の「備えをするきっかけがないから」「何を備えたら良いかわからないから」が『男性』と比べて高い傾向にある。

問9 地域住民同士による助け合い（共助）の重要性について認識していますか。
（1つだけ選んでください）

●助け合い（共助）の重要性（単数回答）

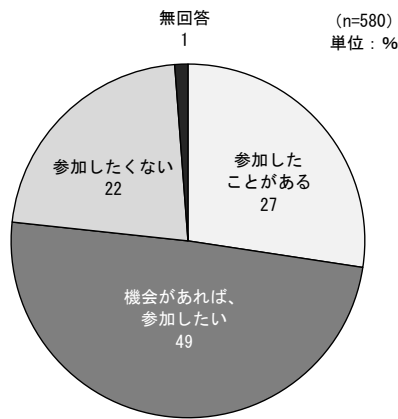


「意識している」「どちらかと言えば認識している」の割合は約7割半

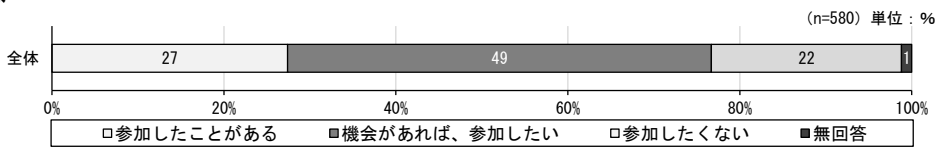
- ・助け合い（共助）の重要性についてみると、“意識している”（「意識している」+「どちらかと言えば意識している」）が75%と7割以上となっている。
- ・年代別にみると、年代が上がるにつれて「認識している」が高い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも同様の傾向となっている。

問10 これまでに、地域での防災訓練など防災活動に参加したことがありますか。
(1つだけ選んでください)

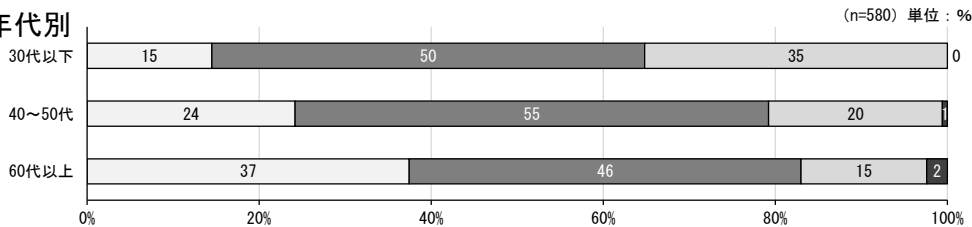
●防災活動の参加（単数回答）



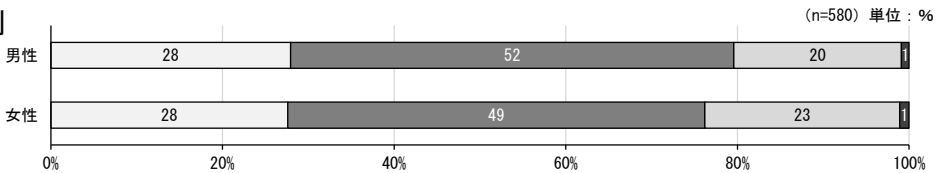
■全体



■年代別



■性別



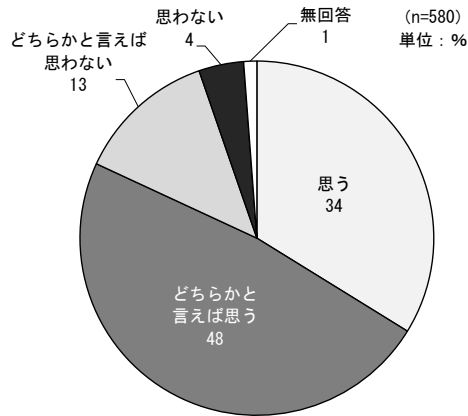
「機会があれば、参加したい」の割合は約半数

- ・防災活動の参加についてみると、「機会があれば、参加したい」が49%と約半数となっている。
- ・年代別にみると、年代が上がるにつれて「参加したことがある」が高い傾向にある。
- ・性別にみると、『男性』の「機会があれば、参加したい」が52%と『女性』と比べてやや高い傾向にある。

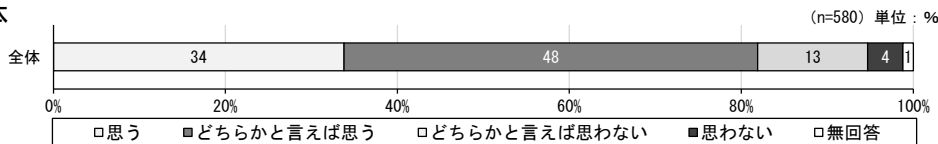
3-2. 防犯について

問11 区役所では、警察等の関係機関と連携し、広報誌やFacebook、Twitter、青色防犯パトロールのナウンスなど様々な手段を活用して防犯情報発信に取り組んでいます。これらの防犯啓発の取り組みが地域の安全や、区民の防犯意識の向上につながっていると思いますか。（1つだけ選んでください）

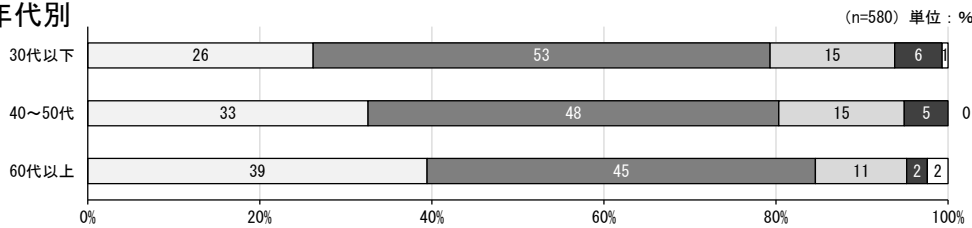
●防犯啓発の取り組み（単数回答）



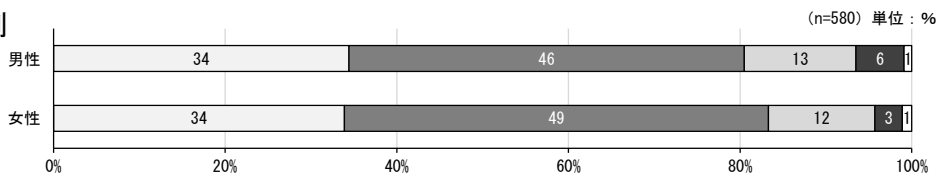
■全体



■年代別



■性別



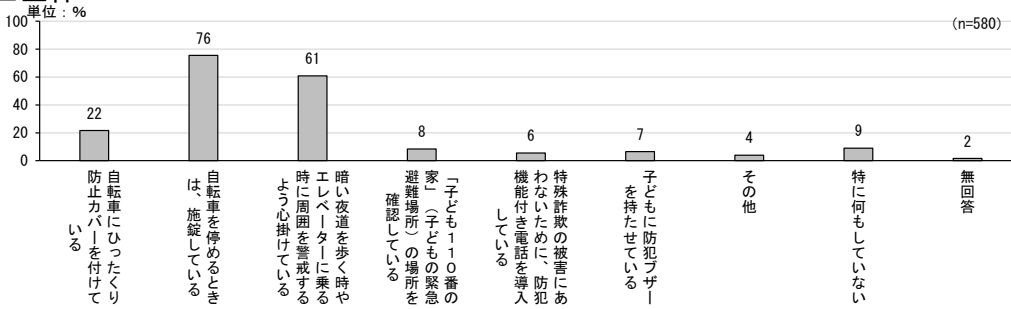
「思う」「どちらかと言えば思う」の割合は約8割

- ・防犯啓発の取り組みについてみると、“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が82%と8割以上となっている。
- ・年代別にみると、年代が上がるにつれて“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が高い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が8割以上となっている。

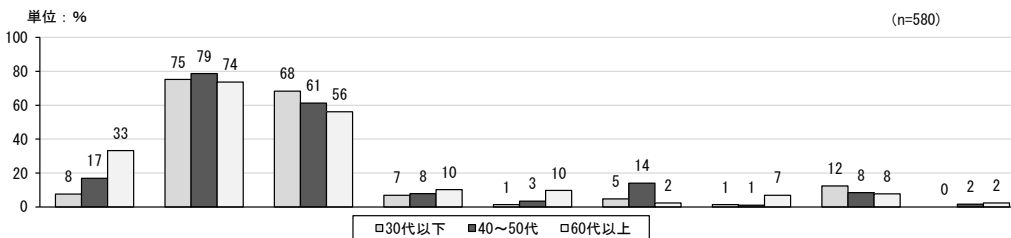
問12 普段から意識して取り組んでいる防犯対策はありますか。
(いくつでも選んでください)

● 普段から意識して取り組む防犯対策（複数回答）

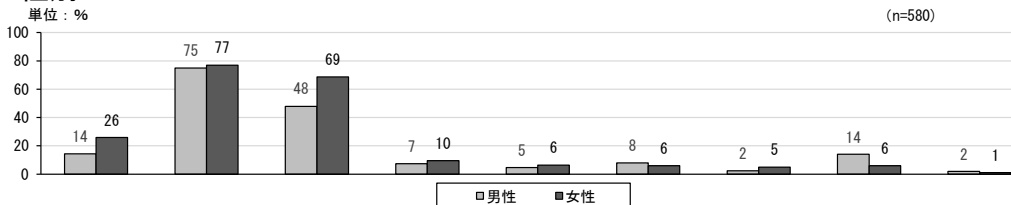
■ 全体



■ 年代別



■ 性別



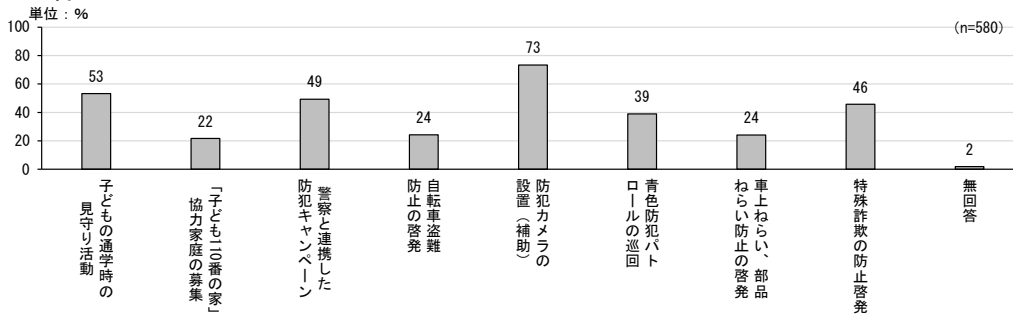
「自転車を止めるときは、施錠している」の割合が最も高く約8割

- ・ 普段から意識して取り組む防犯対策についてみると、「自転車を止めるときは、施錠している」が76%と最も高く、次いで「暗い夜道を歩く時やエレベーターに乗る時に周囲を警戒するよう心掛けている」が61%、「自転車にひたたくり防止カバーを付けている」が22%の順となっている。
- ・ 年代別にみると、全ての年代にかけて「自転車を止めるときは、施錠している」「暗い夜道を歩く時やエレベーターに乗る時に周囲を警戒するよう心掛けている」が高い傾向にある。
- ・ 性別にみると、男女とも「自転車を止めるときは、施錠している」が高い傾向にある。

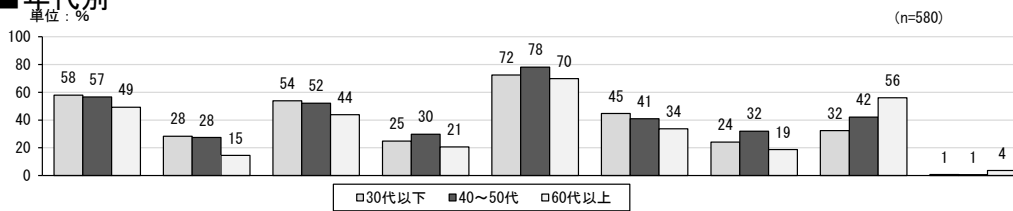
問13 区民の防犯意識を向上させる取り組みを推進するためには、今後、どのような防犯対策に重点をおく必要があると思いますか。（いくつでも選んでください）

●今後、防犯対策に重点をおく項目（複数回答）

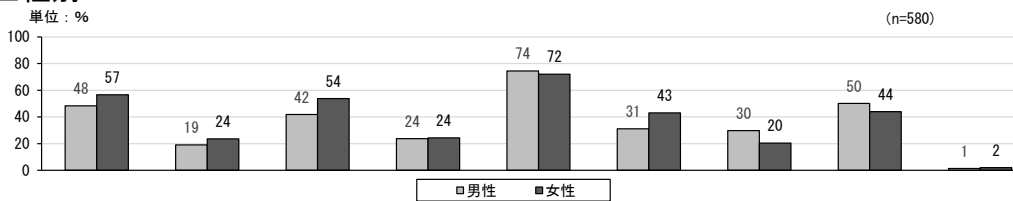
■全体



■年代別



■性別



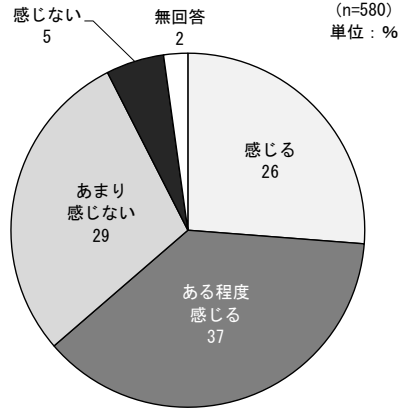
「防犯カメラの設置（補助）」の割合が最も高く約7割

- ・今後、防犯対策に重点をおく項目についてみると、「防犯カメラの設置（補助）」が73%と最も高く、次いで「子どもの通学時の見守り活動」が53%、「警察と連携した防犯キャンペーン」が49%の順となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代にかけて「防犯カメラの設置（補助）」が高い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも「防犯カメラの設置（補助）」が高い傾向にある。

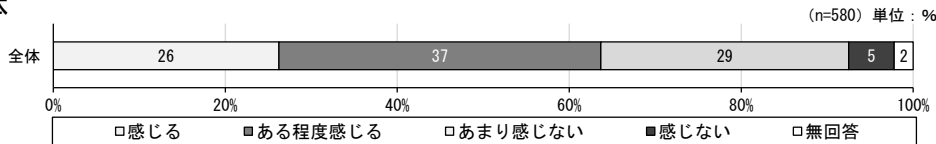
3-3. マナー向上について

問14 区役所では、警察等の関係機関と連携し、交通ルールや交通マナーの啓発活動などさまざまな交通安全対策事業を進めています。これらの取り組みが交通事故防止につながっていると感じますか。（1つだけ選んでください）

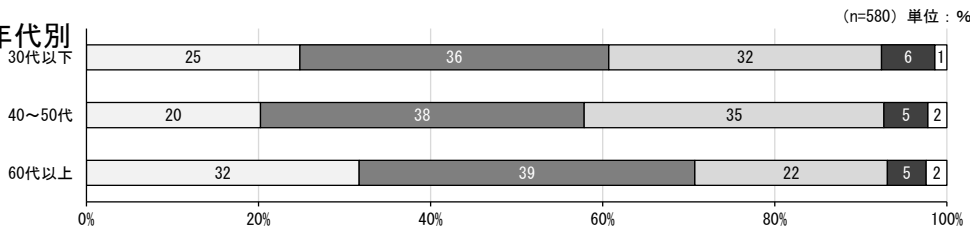
●交通ルールや交通マナーの啓発活動の取り組み意識（単数回答）



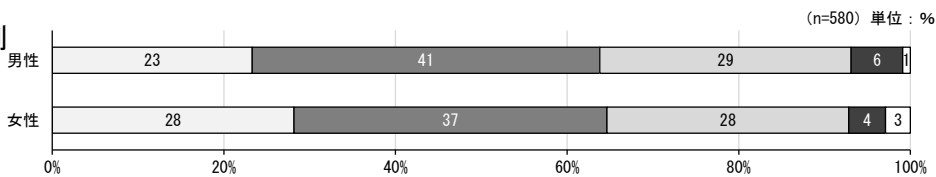
■全体



■年代別



■性別



「感じる」「ある程度感じる」の割合は約6割

- ・交通ルールや交通マナーの啓発活動の取り組み意識についてみると、“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が63%と6割以上となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が71%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が6割以上となっている。

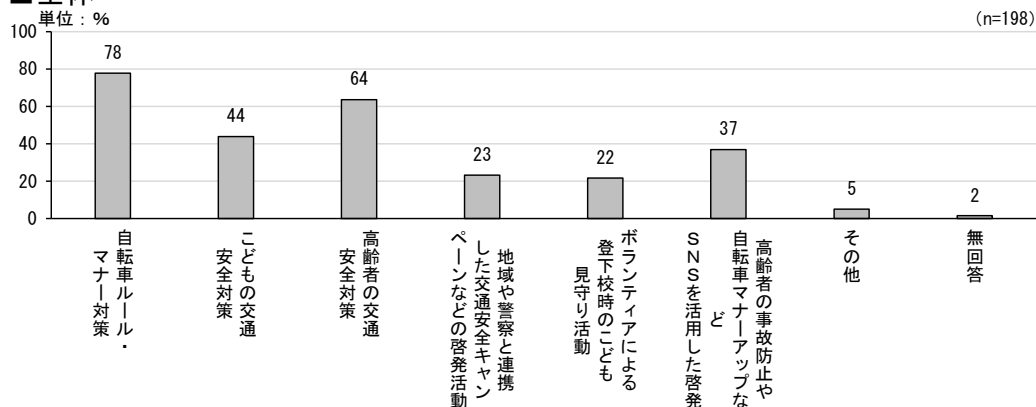
問14で「あまり感じない」「感じない」と回答した方におたずねします。

問15 今後、どのような交通安全対策を推進していくことが必要だと思いますか。

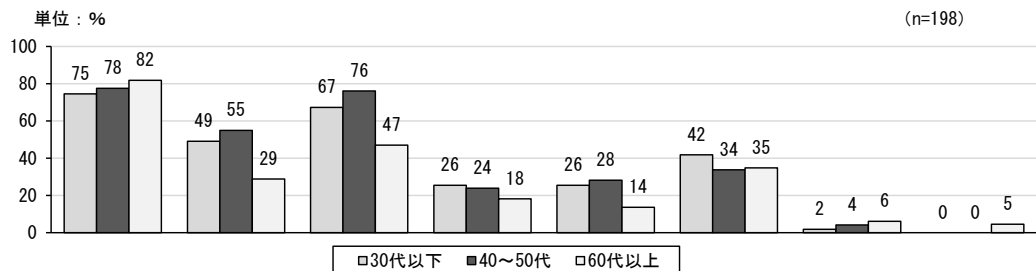
(いくつでも選んでください)

●交通安全対策推進が必要な項目（複数回答）

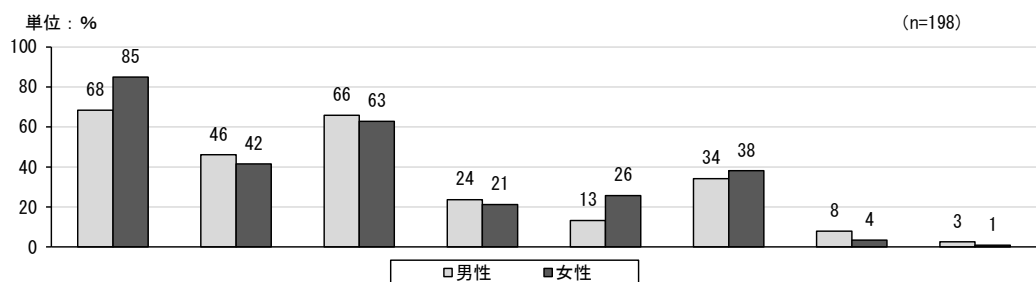
■全体



■年代別



■性別

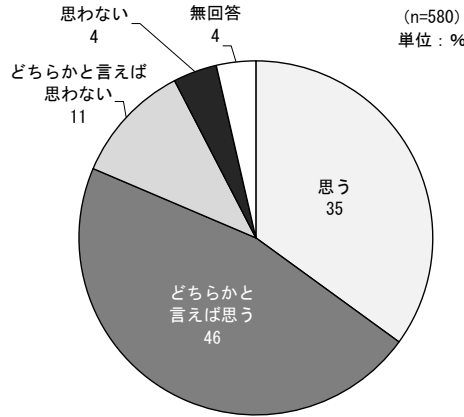


「自転車ルール・マナー対策」の割合が最も高く約8割

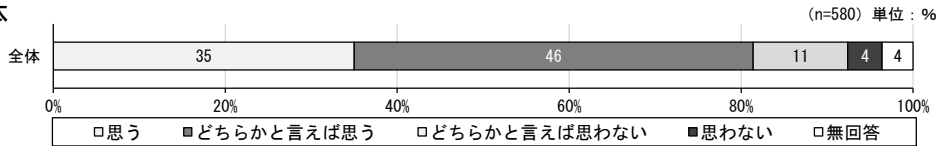
- 交通安全対策推進が必要な項目についてみると、「自転車ルール・マナー対策」が78%と最も高く、次いで「高齢者の交通安全対策」が64%、「子どもの交通安全対策」が44%の順となっている。
- 年代別にみると、全ての年代にかけて「自転車ルール・マナー対策」が高い傾向にある。
- 性別にみると、『女性』の「自転車ルール・マナー対策」が85%と『男性』と比べて高い傾向にある。

問16 区役所では、都島クリーン作戦などボランティア清掃の取り組みを推進するとともに、地域や商店街等と協働し、京橋駅周辺を中心に放置自転車対策やごみのポイ捨て防止などのマナー啓発に取り組んでいます。こうした取り組みが区民や来街者の環境美化意識の向上につながっていると思いますか。（1つだけ選んでください）

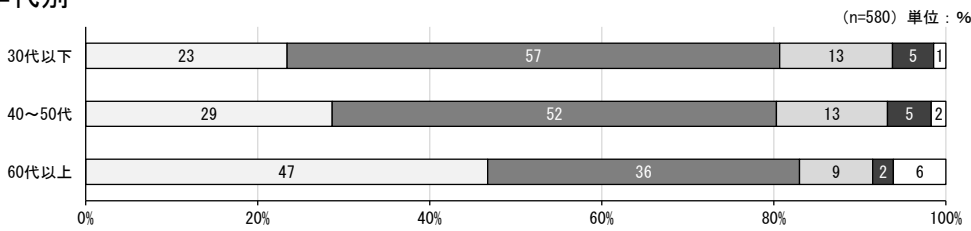
●マナー啓発に対する意識（単数回答）



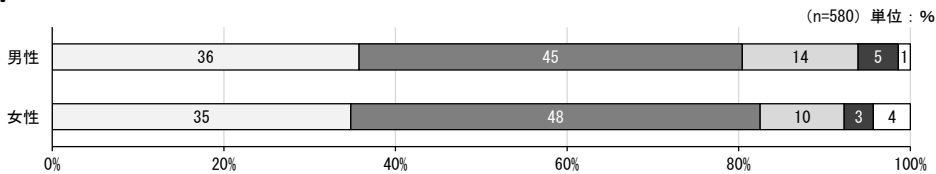
■全体



■年代別



■性別



「思う」「どちらかと言えば思う」の割合は約8割

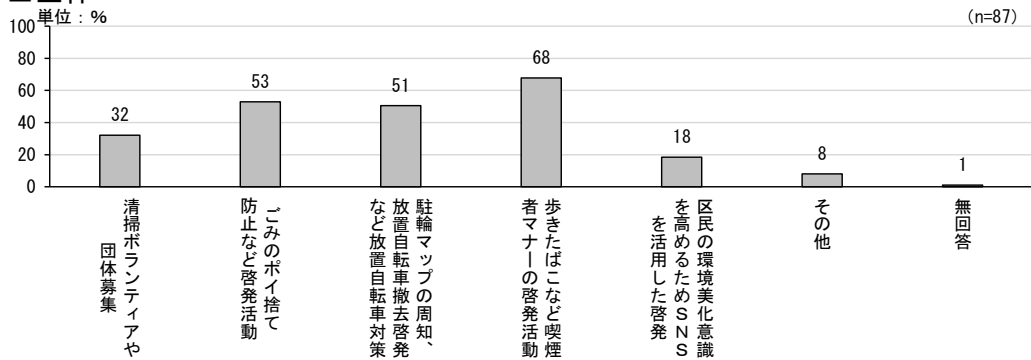
- ・マナー啓発に対する意識についてみると、“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が81%と8割以上となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代にかけて“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が8割以上となっている。
- ・性別にみると、男女とも“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が8割以上となっている。

問16で「どちらかと言えば思わない」「思わない」と回答した方におたずねします。

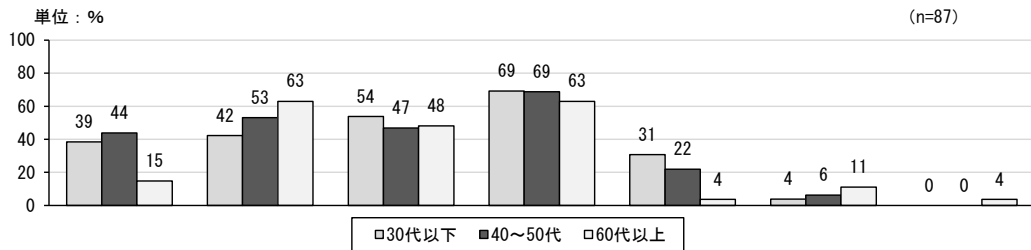
問17 区民の環境美化意識を高めてもらうためには、今後、どのような啓発活動を推進していくことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）

●環境美化意識を高めるための啓発活動（複数回答）

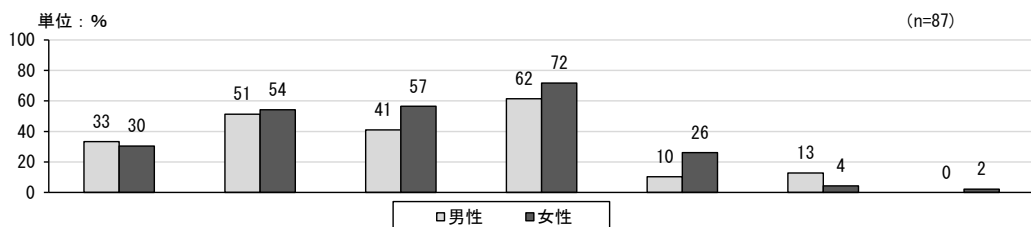
■全体



■年代別



■性別

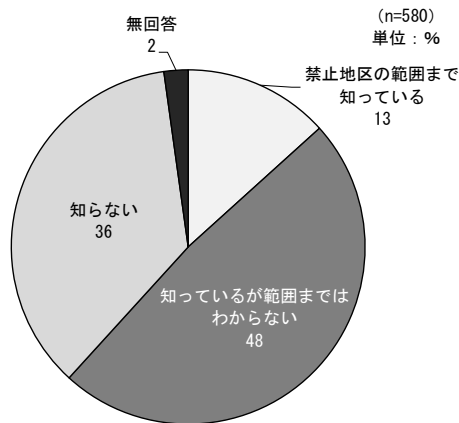


「歩きたばこなど喫煙者マナーの啓発活動」の割合が最も高く約7割

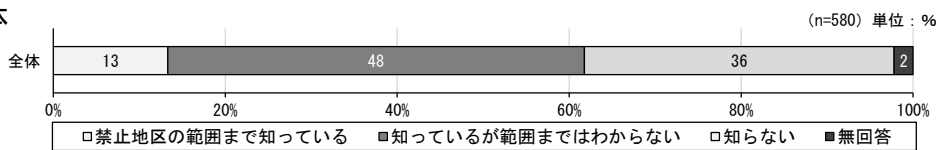
- ・環境美化意識を高めるための啓発活動についてみると、「歩きたばこなど喫煙者マナーの啓発活動」が68%と最も高く、次いで「ごみのポイ捨て防止など啓発活動」が53%、「駐輪マップの周知、放置自転車撤去啓発など放置自転車対策」が51%の順となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「清掃ボランティアや団体募集」「区民の環境美化意識を高めるためSNSを活用した啓発」が他の年代と比べて低い傾向にある。
- ・性別にみると、『男性』の「区民の環境美化意識を高めるためSNSを活用した啓発」が『女性』と比べて低い傾向にある。

問18 健康被害やポイ捨てを防止し、歩行者が安全に通行できる環境を整備するため、平成27年2月から京橋駅周辺を路上喫煙禁止地区に指定しています。京橋駅周辺が禁止地区に指定されていることを知っていますか。（1つだけ選んでください）

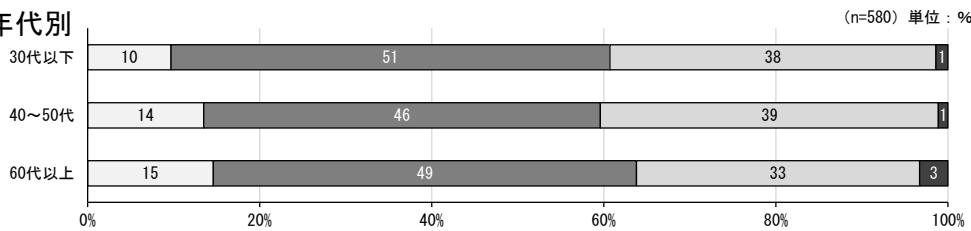
●京橋地区の路上喫煙禁止地区に対する認知度（単数回答）



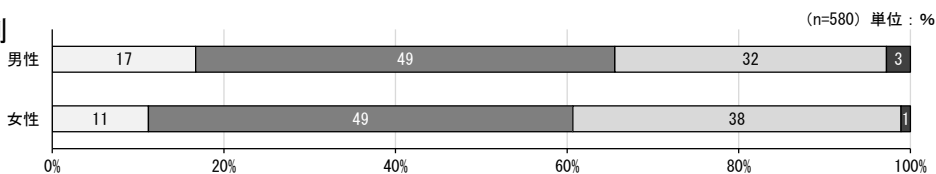
■全体



■年代別



■性別

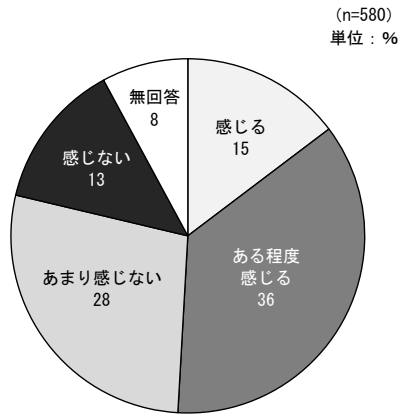


「禁止地区の範囲まで知っている」「知っているが範囲まではわからない」の割合は約6割

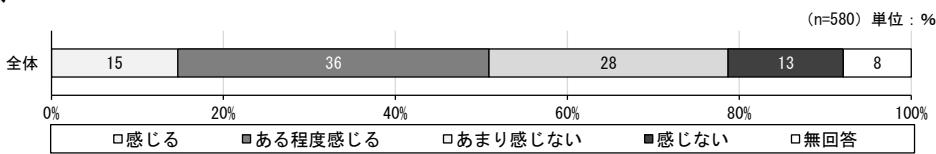
- ・京橋地区の路上喫煙禁止地区に対する認知度についてみると、“知っている”（「禁止地区の範囲まで知っている」＋「知っているが範囲まではわからない」）が61%と6割以上となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代にかけて“知っている”（「禁止地区の範囲まで知っている」＋「知っているが範囲まではわからない」）が“知らない”を上回っている。
- ・性別にみると、『男性』の“知っている”（「禁止地区の範囲まで知っている」＋「知っているが範囲まではわからない」）が『女性』と比べてやや高い傾向にある。

問19 京橋地域が禁止地区に指定される前と比べて、たばこのポイ捨てが減少し、喫煙マナーが向上したと感じますか。（1つだけ選んでください）

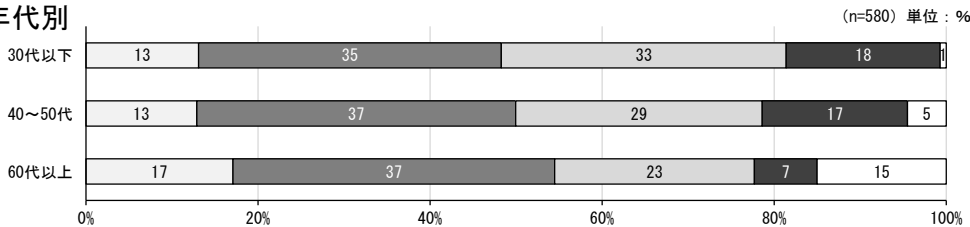
●京橋地区の喫煙マナー向上に対する意識（単数回答）



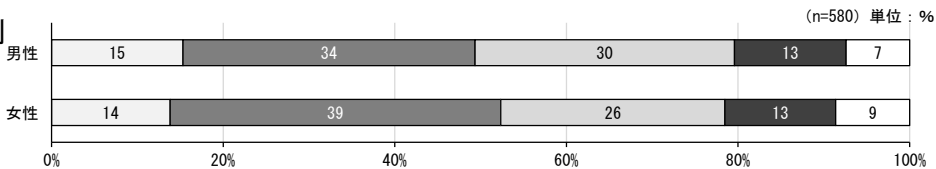
■全体



■年代別



■性別

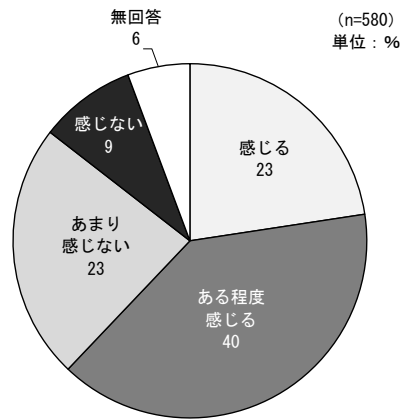


「感じる」「ある程度感じる」の割合は約半数

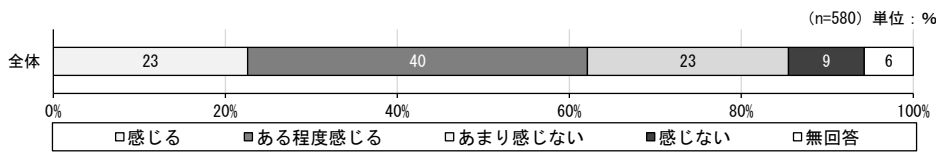
- ・京橋地区の喫煙マナー向上に対する意識についてみると、“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が51%と約半数となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が55%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、『女性』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が52%と『男性』と比べてやや高い傾向にある。

問20 路上喫煙禁止地区（京橋地域）で喫煙マナー啓発などの取り組みが美しいまちづくりにつながっていると感じますか。（1つだけ選んでください）

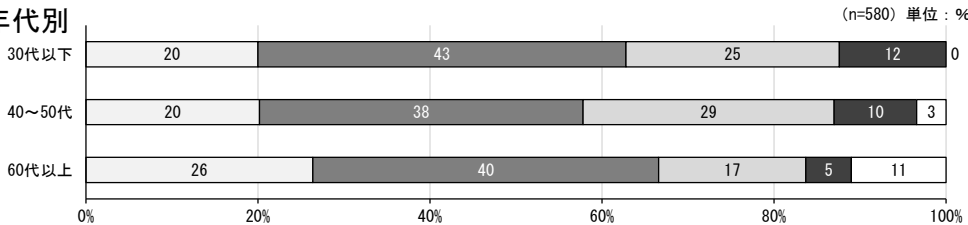
●京橋地区の喫煙マナー啓発などの取り組みに対する意識（単数回答）



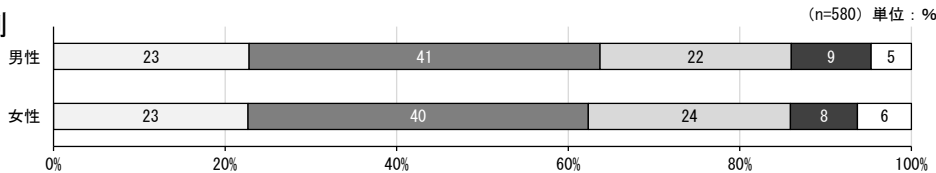
■全体



■年代別



■性別



「感じる」「ある程度感じる」の割合は約6割

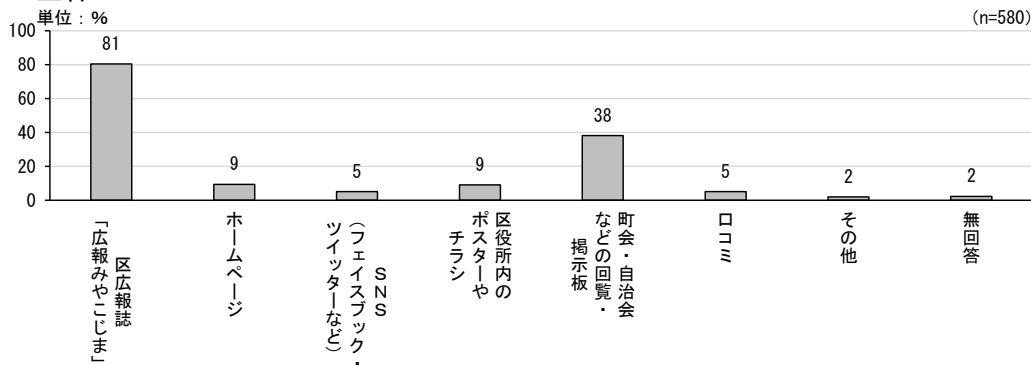
- ・京橋地区の喫煙マナー啓発などの取り組みに対する意識についてみると、“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が63%と6割以上となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が58%と他の年代と比べて低い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3-4. 広報誌・ホームページ・SNS

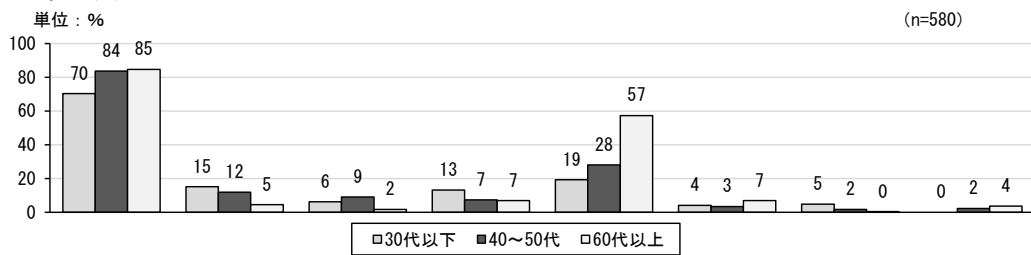
問21 区役所からの情報（イベントやお知らせなど）を、何から入手していますか。（いくつでも選んでください）

●区役所からの情報の入手先（複数回答）

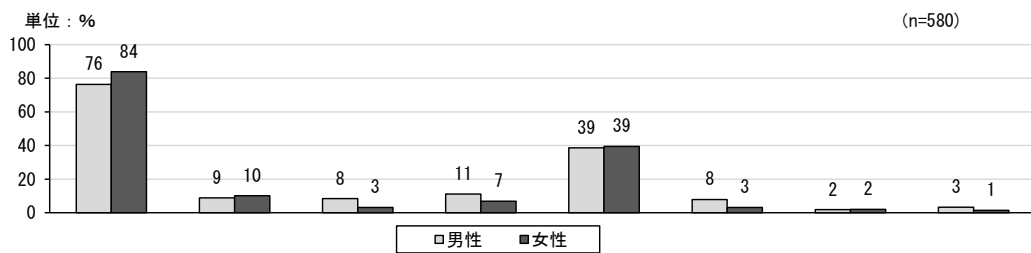
■全体



■年代別



■性別

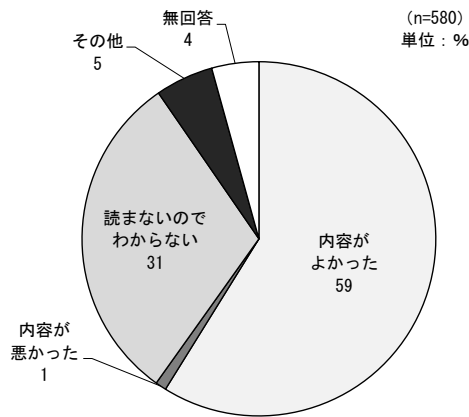


「区広報誌「広報みやこじま」」の割合が最も高く約8割

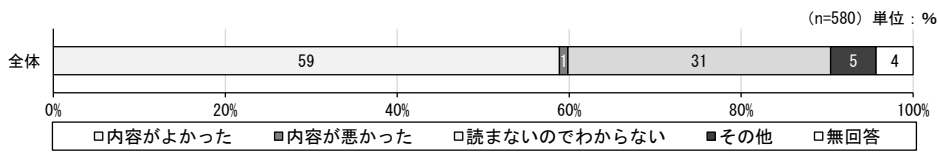
- ・区役所からの情報の入手先についてみると、「区広報誌「広報みやこじま」」が81%と最も高く、次いで「町会・自治会などの回覧・掲示板」が38%、「ホームページ」が9%の順となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「町会・自治会などの回覧・掲示板」が57%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

問22 広報誌は冊子のほか、パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。広報誌の記事についてどのように感じましたか。（1つだけ選んでください）

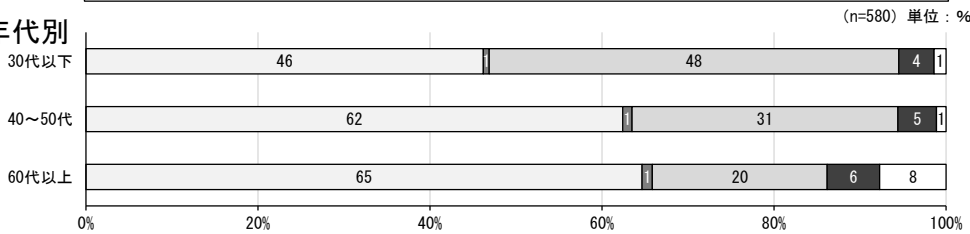
● 広報誌に対する感想（単数回答）



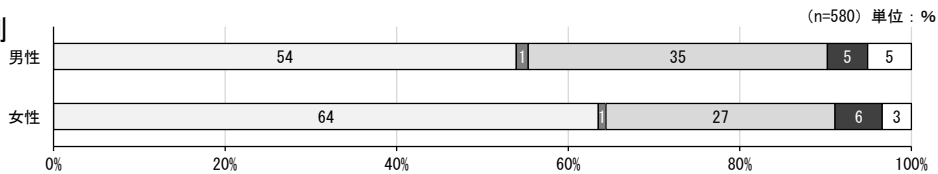
■ 全体



■ 年代別



■ 性別

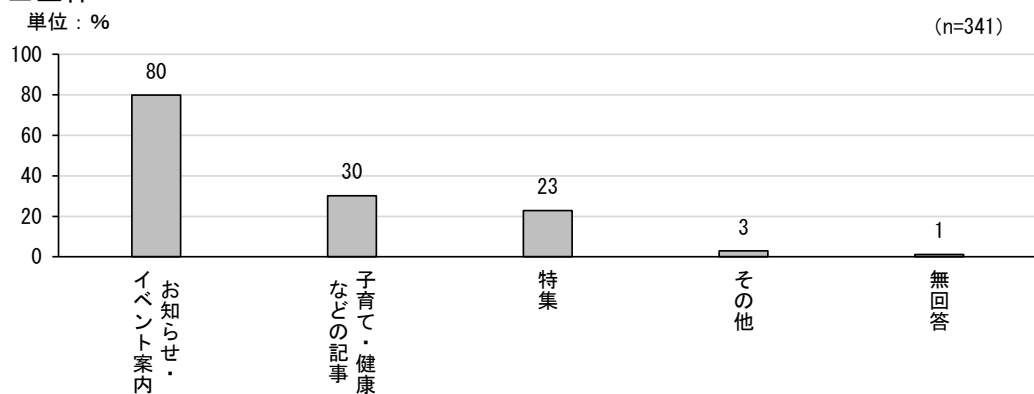


「内容がよかった」の割合は約6割

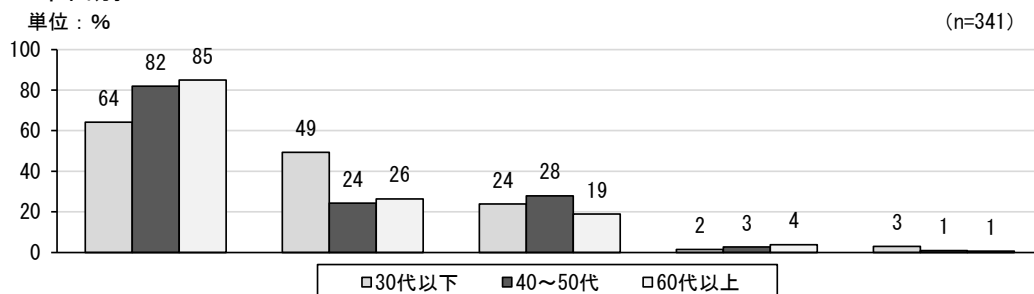
- ・ 広報誌に対する感想についてみると、「内容がよかった」が59%と最も高く、次いで「読まないのわからない」が31%、「その他」が5%の順となっている。
- ・ 年代別にみると、年代が上がるにつれて「内容がよかった」が高い傾向にある。
- ・ 性別にみると、『女性』の「内容がよかった」が64%と『男性』と比べて高い傾向にある。

1. 広報誌の内容が良かったと感じる点

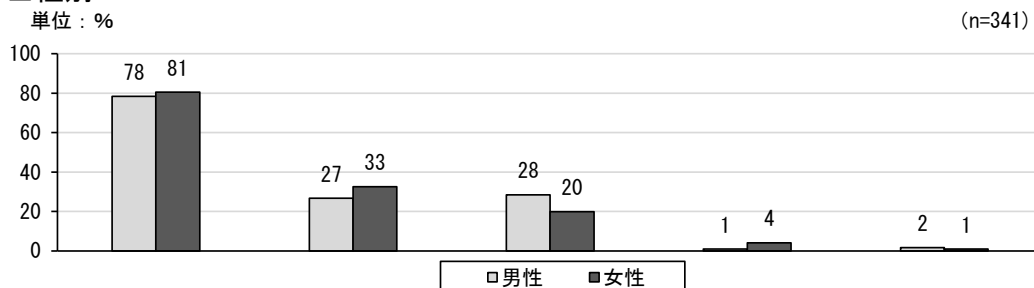
■全体



■年代別



■性別

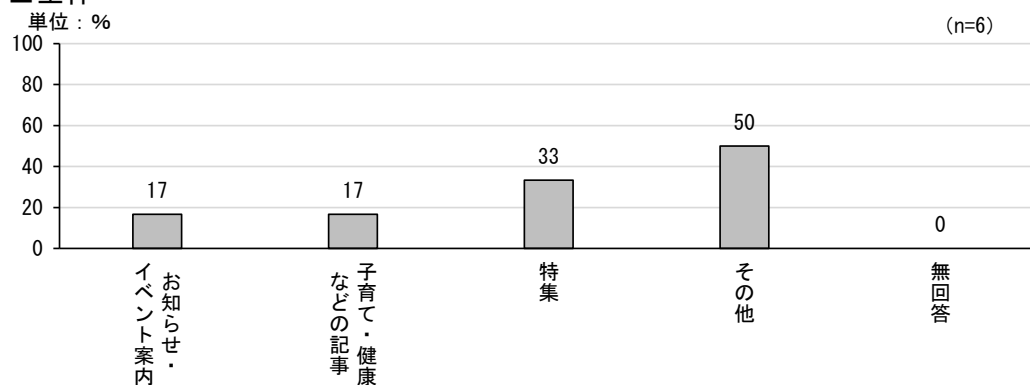


「お知らせ・イベント案内」の割合が最も高く約8割

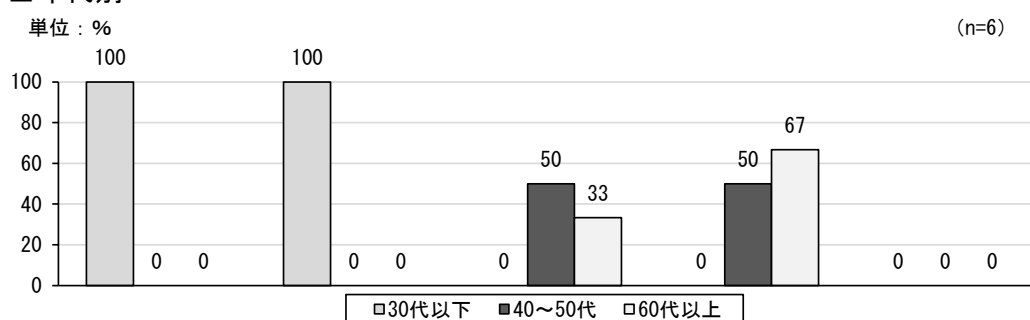
- ・ 広報誌の内容が良かったと感じる点についてみると、「お知らせ・イベント案内」が80%と最も高く、次いで「子育て・健康などの記事」が30%、「特集」が23%の順となっている。
- ・ 年代別にみると、『30代以下』の「子育て・健康などの記事」が49%と他の年代と比べて高い傾向にある。
- ・ 性別にみると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

2. 広報誌の内容が悪かったと感じる点

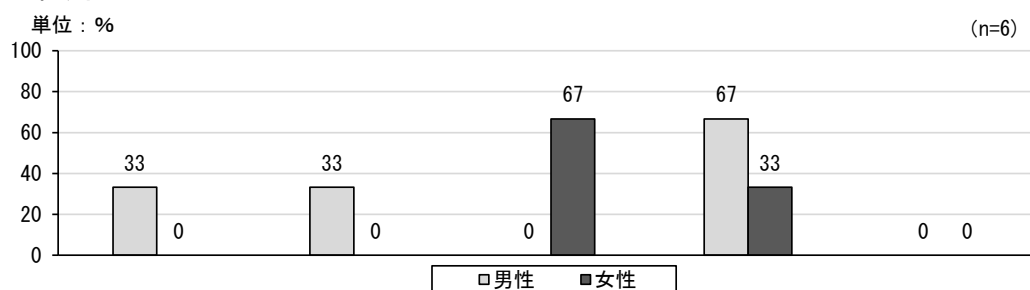
■全体



■年代別



■性別

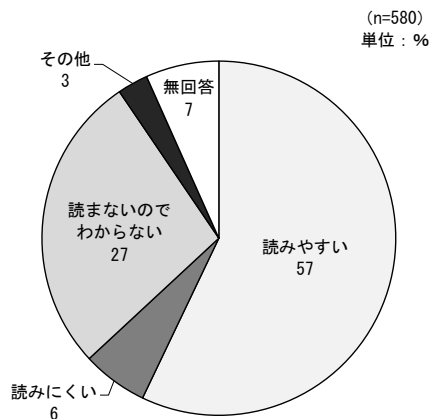


「その他」の割合が最も高く約半数

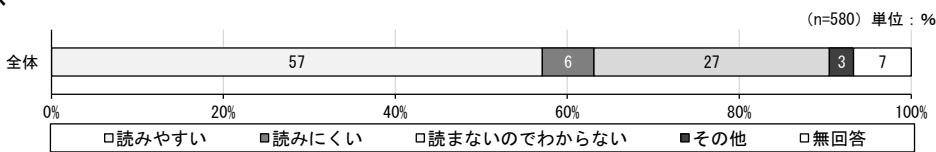
- ・ 広報誌の内容が悪かったと感じる点についてみると、「その他」が50%と最も高く、次いで「特集」が33%、「お知らせ・イベント案内」「子育て・健康などの記事」が共に17%の順となっている。
- ・ 年代別にみると、『30代以下』の「お知らせ・イベント案内」「子育て・健康などの記事」が高い傾向にある。
- ・ 性別にみると、男女とも「その他」が高い傾向にある。

問23 広報誌の記事の読みやすさについてどのように感じましたか。
(1つだけ選んでください)

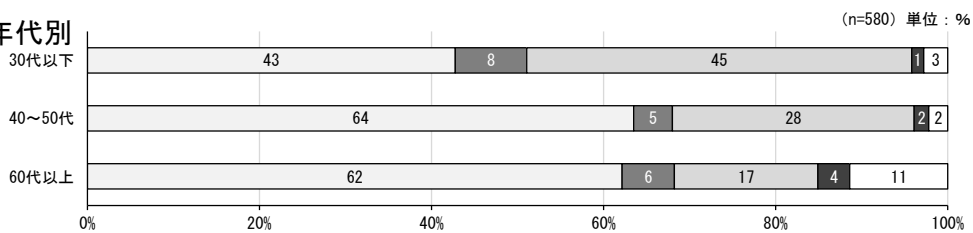
● 広報誌の記事の読みやすさ (単数回答)



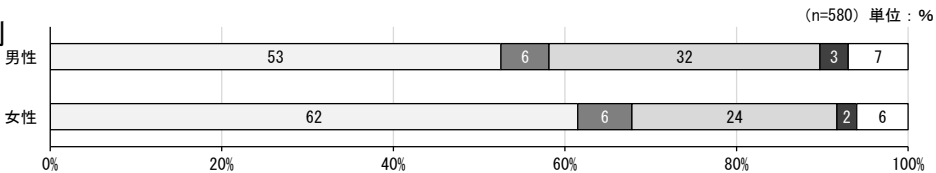
■ 全体



■ 年代別



■ 性別

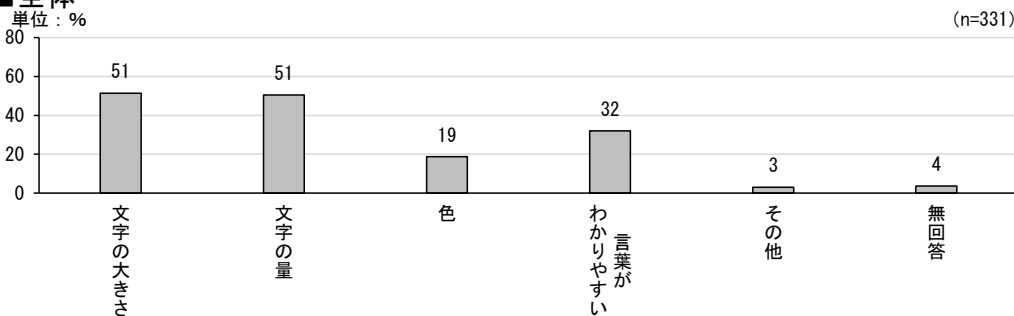


「読みやすい」の割合は約6割

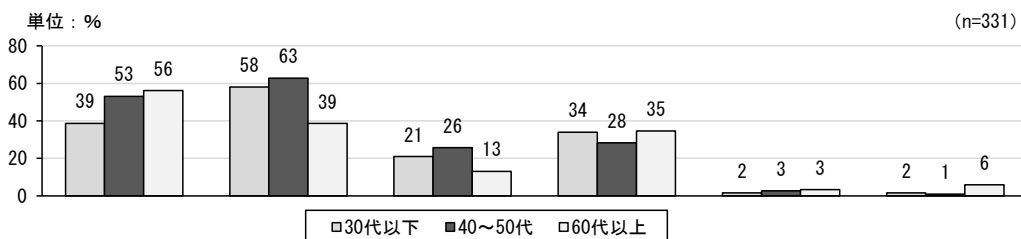
- ・ 広報誌の記事の読みやすさについてみると、「読みやすい」が57%と最も高く、次いで「読まないのわからない」が27%、「読みにくい」が6%の順となっている。
- ・ 年代別にみると、『30代以下』の「読みやすい」が43%と他の年代と比べて低い傾向にある。
- ・ 性別にみると、『女性』の「読みやすい」が62%と『男性』と比べて高い傾向にある。

1. 広報誌の記事が読みやすいと感じる点

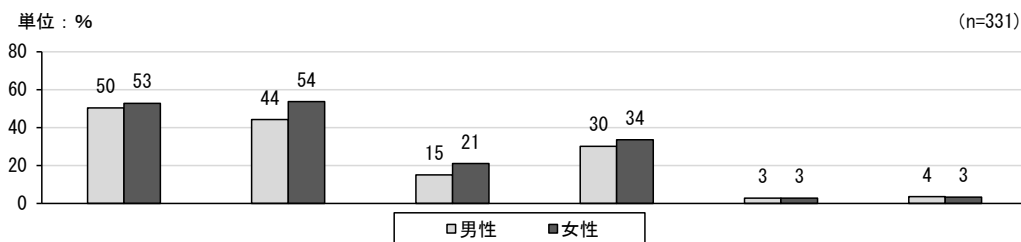
■全体



■年代別



■性別

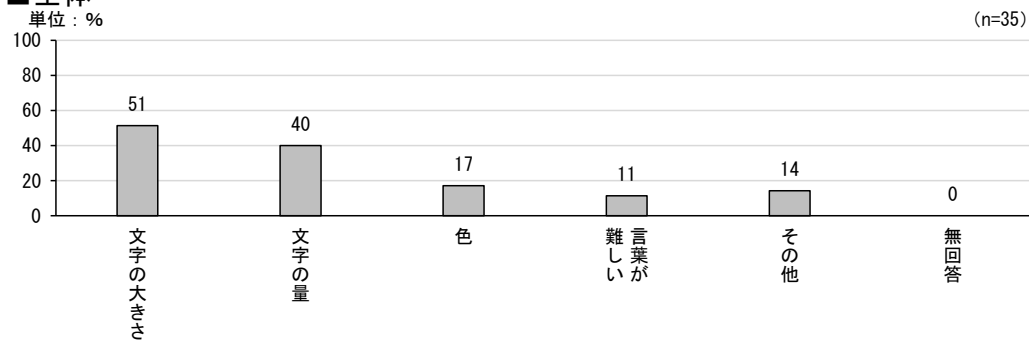


「文字の大きさ」「文字の量」の割合が最も高く共に約半数

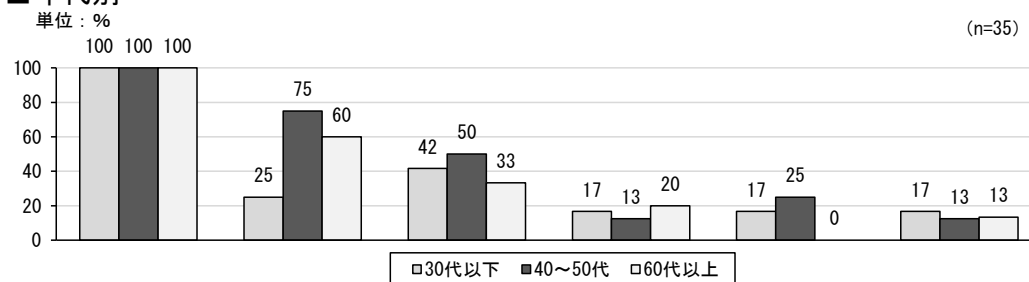
- ・ 広報誌の記事が読みやすいと感じる点についてみると、「文字の大きさ」と「文字の量」が共に51%と最も高く、次いで「言葉がわかりやすい」が32%の順となっている。
- ・ 年代別にみると、『30代以下』の「文字の大きさ」が39%と他の年代と比べて低い傾向にある。
- ・ 性別にみると、『女性』では読みやすいと感じる点のほとんどで『男性』のポイントを上回っている。

2. 広報誌の記事が読みにくいと感じる点

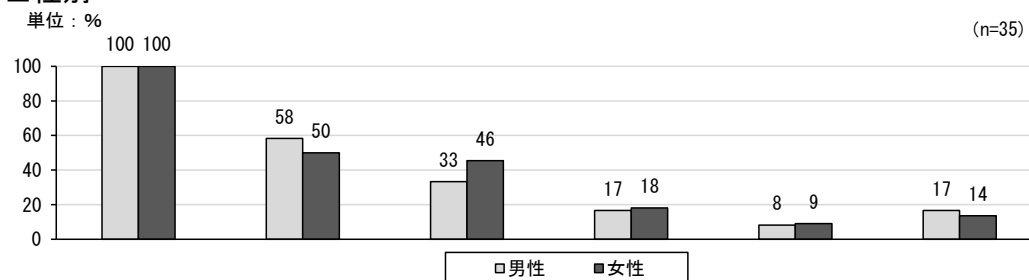
■全体



■年代別



■性別



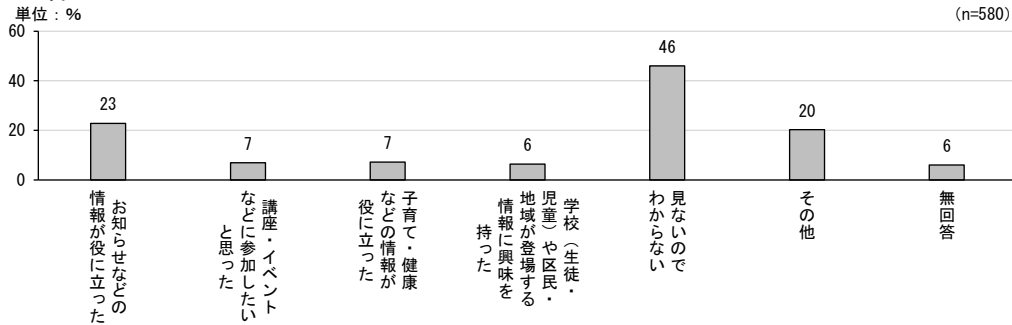
「文字の大きさ」の割合が最も高く約半数

- ・ 広報誌の記事が読みにくいと感じる点についてみると、「文字の大きさ」が51%と最も高く、次いで「文字の量」が40%、「色」が17%の順となっている。
- ・ 年代別にみると、全ての年代にかけて「文字の大きさ」が100%となっている。
- ・ 性別にみると、男女とも「文字の大きさ」が100%となっている。

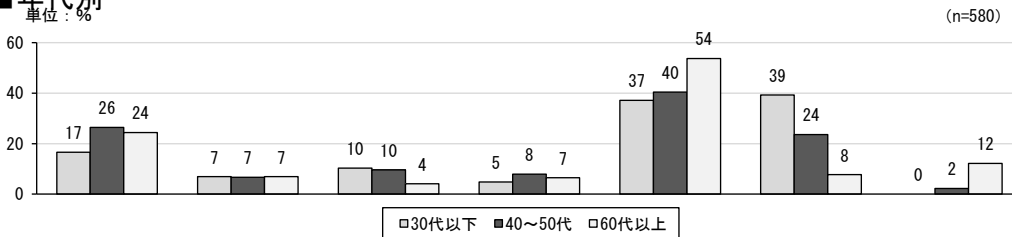
問24 都島区のホームページやSNS（フェイスブック・ツイッターなど）を見て、どのように感じましたか。（いくつでも選んでください）

●都島区のホームページやSNSに対する意見（複数回答）

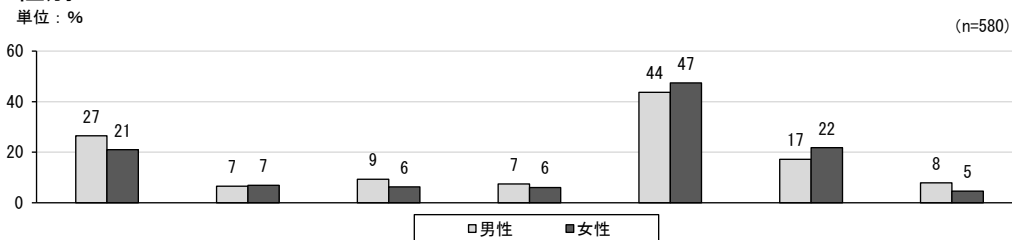
■全体



■年代別



■性別



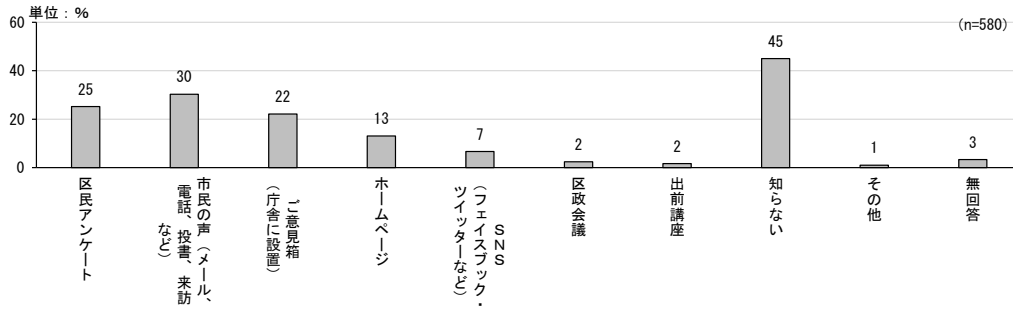
「見ないのでわからない」の割合が最も高く約半数

- ・都島区のホームページやSNSに対する意見についてみると、「見ないのでわからない」が46%と最も高く、次いで「お知らせなどの情報が役に立った」が23%、「その他」が20%の順となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代にかけて「見ないのでわからない」が高い傾向にあり、特に『60代以上』では54%と半数を超えている。
- ・性別にみると、男女とも「見ないのでわからない」が高い傾向にある。

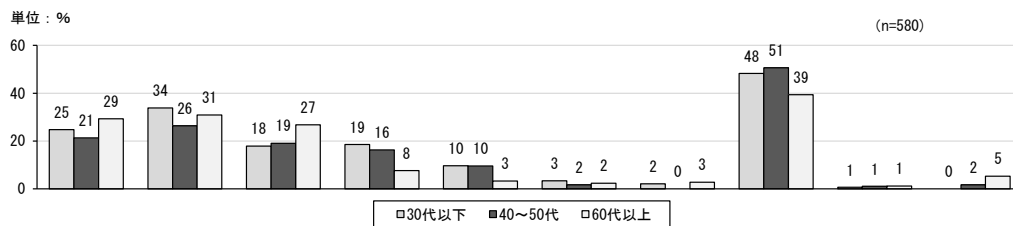
問25 あなたの意見やニーズを区役所に伝える以下の方法を知っていますか。
(いくつでも選んでください)

●区民の意見やニーズを伝える方法の認知度（複数回答）

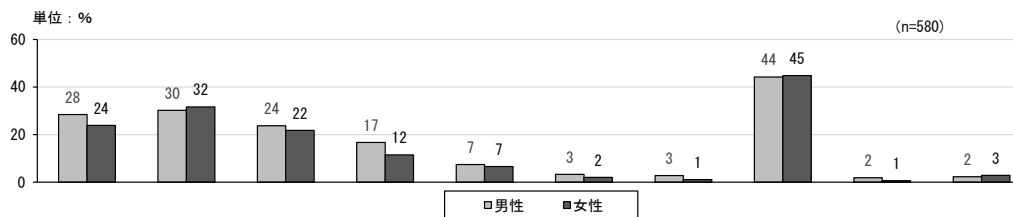
■全体



■年代別



■性別



「知らない」の割合が最も高く4割半

- ・区民の意見やニーズを伝える方法の認知度についてみると、「知らない」が45%と最も高く、次いで「市民の声（メール、電話、投書、来訪など）」が30%、「区民アンケート」が25%の順となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代にかけて「知らない」が高い傾向にある。
- ・性別にみると、男女とも「知らない」が高い傾向にある。

3-5. 自由意見

①防災・防犯・マナー向上（70件）

夜半の見回りの強化をしてほしい。

自転車のライトを法律で定めてもらいたい。無灯火の自転車が急に曲がったりしてきて大変危険！！そのような自転車が、又スピードを出している。

大阪府警の「安まちメール」をよく見るが、区民にメール登録推進の仕組みを作り、区役所側からタイムリーに、且つ区民側に自動的に情報が届く仕組みづくりをしてほしい。

交通安全対策事業をいつ、どこで遣っているかわからない。広報みやこじまは楽しみにしているが、見つけたことがない。ぜひ、参加したい。マンションの消火設備等には参加しています。

駅前のキャッチなんかしてください。

タバコのポイ捨て。学生・主婦の自転車マナーの悪さに困っている。カーブミラーを設置してほしい。

緊急時の対応などちゃんとしてほしい。タバコのマナー、自転車のマナーが悪すぎる、人ごみでたばこを吸っている人にはペナルティを付けるべき。小さな子供の顔や体にやけどの被害があったらどうしてくれるんだといつも思う。

公園で子供たちを遊ばせたりするが、お菓子のゴミ・ガラスびんが落ちていたりするので遊ばせるのが怖い。近所の年配の方が道路などに私物の花を植えており危険だと思う。

身体の不自由な人達はどのようにして逃げたらいいか考えてほしいです。

京橋駅付近のマナーが気になります。①喫煙スペースの外でたばこ吸っている。②歩きタバコ③道端や草陰にゴミを捨てる。道端や草陰で嘔吐、立ちション。夜間のみ見回りや視覚的に汚し辛い環境づくりをお願いします（目立つゴミ箱や吸殻入れ、植え込みの設備、空き地との柵やフェンス、鳩のフンや壊れた自転車撤去など地面の掃除）

高倉小学校近くに住んでいるが、通学路にタバコの吸殻、缶、ペットボトル、ゴミが捨てられ子供たちをかわいそうに思っている。雑草なども中々掃除しきれません。小学校と地域が協力したり、元気な高齢者なら子供たちのためのお手伝いがあることがあると思います。非常識な大人、特に男性が多い。子供たちの見本になるよう、もっとマナーを守ってほしい。そのための取り組みを考えてほしい

外灯が少なかったり、住宅地でも暗いなど思うところがある。外灯をふやすか、明るめのLEDにするとか。

携帯マナーが一時より悪くなっている。自転車に乗ったまま。地下鉄の階段でしようしているのが動きが遅くなっている。自転車のマナーも悪く、子供のころからの指導が必要。防犯・防災・マナー向上はこれからも継続していただき啓発活動が広く行き渡り周知されるようお願いいたします。

登下校時の小中学生のマナーが悪く、自転車や歩行時でもこちらが危ない。ベビーバギーを押しているからと高齢者が歩いていてもどけない。道を譲らない若いお母さん達をどうかと思う。スマホを見ながら歩いたり、自転車に乗って譲らず高齢者でケガされた方もおり、怖い思いをされている方は多すぎる。

子供たちに学校や、駅前の掃除をしてもらうように。先で、良いことが感じられます。

土地柄なのか公園にポイ捨てや、ゴミ収集の日は、カラスの仕業かゴミが散乱していて、子供を安心して遊ばせられない。京橋駅周辺は公園が多く助かっています。

最近、特に自転車のルール・マナーが悪く、時には危険を感じるがあります。ルールを徹底してほしいです。

歩きタバコが減っていてもなくなることはないのは私のように意識の低いひとがまだまだいるからだと思います。自分は嫌だと感じてるのに、でもしないのはダメですが・・・なかなか難しいです。意識を変えるのは・・・。

マンションの駐輪場にマンションに住んでいない人の自転車が何台も置かれて非常に台数が多い時がありマンションのシールがはっていない自転車を置いて地下鉄に乗る人、夕方に駐輪場にとりにきて、乗って自宅に帰るのである女子高生がいたり、ある時は自転車のライトをうまくはずされていた事があります。置いても安心なのかもしれませんが、都島駅（地下鉄）では見まわりしてトラックに乗せて帰ることがあるので、取られるのがいやで置くのでしょうか・・・！？ただ、都島には自転車のコースがないので、歩道を通りますが人とぶつかりそうになります。京橋のように道と歩道の間に水色のペンキがぬってある道路には安心して走れます。都島も自転車専用の水色ペンキ道をこしらえて欲しいですね。人が自転車道の方を歩いていたりでスムーズに自転車は走れません。自転車専用道を書いてほしいですね。以上、ご検討下さいませ。よろしくです。

| |
|---|
| <p>防災行政無線（防災スピーカー）、何か言っているのはわかるが、ワンワンと音が反響して、窓を開け、家族で耳をこらして聞いても内容が全く分からない（70歳主人、60代私、20代娘）友渕町のベルパークの中を歩いているときよく聞こえたが、数歩歩くといつものように全然聞き取れなかった。</p> |
| <p>個人の防災意識を高めることは大切だが、人それぞれ限界があるので行政としては防災だけでなく、被災後をどうするかをしっかりとやってほしい。防災マップを見ても避難場所や設備までが遠かったり、施設がそんなに多くないと思う。空き地・空き家の活用、淀川連絡線跡地を防災の機動拠点として活用してはどうか？防災施設を建設してはどうか？被災必需品・工具・機材の充実、避難生活用品・食糧備蓄拠点としてはどうか？学校や公園の避難所だけでなく長期避難所も必要だと思う。</p> |
| <p>特殊詐欺の多発に応じて都島警察がキャッシュディスプレイの前で振込み者への注意を喚起していた。突然の声に驚いたが区役所との連携を広報誌などで知らせれば警察とのつながりが分かって安心できます。</p> |
| <p>女性が利用している電動自転車が怖い。電動自転車利用の女性（子供連れ）への意識向上を誌面で指摘してほしい。</p> |
| <p>都島駅周辺の駐輪マナーが悪い。一部の人のせいで都島住民の意識が低く目に映り気分が悪い。規制線を張るなどで強制的に駐輪場を利用させるように誘導すべきだ。</p> |
| <p>50年以上住んでいるが、以前に比べ、周囲は老人ばかり。以前のような地域活動も内容で地域に活気がない。災害があって支えていけるか不安です。</p> |
| <p>外灯を増やしてください。防犯カメラの設置をお願いします。</p> |
| <p>警察は何かあって電話すれば来てくれるが事故など起こってからじゃないと対処はしてくれない。自分の近くの道路でも出て行くとき危ない角があり、ミラーを付けてほしい。</p> |
| <p>夜中に暗い地域の見回りや巡回を増やしてほしい。</p> |
| <p>路上喫煙禁止地区は指定されているだけでパトロール等はしないのですか？罰金は徴収していますか？今まで一度も巡回や罰金徴収を見たことがない。通勤時間帯や夜間に喫煙しながら歩いている人がかなりいます。</p> |
| <p>コロナで失業者が増えるばかり。人の心がすさみ治安は必ず低下する。正直な話、大不況になりつつある。何から手を打てばよいのか。もうすぐ定年でのんびり暮らしたいがそうもいかなそう。</p> |
| <p>交通ルールは常識を守ってほしい。自分は危険な場所は通行しない。充分気をつけて不可抗力には絶対実行形。役所の皆様、日頃はご苦労様です。</p> |
| <p>歩きタバコが多いので厳しく取り締まってほしい。</p> |
| <p>信号機がいつまで経っても古いままでLEDとの格差を感じる。見た目も悪いのでできる限り早くきれいにしてほしい。</p> |
| <p>京橋周辺だけでなく路上喫煙禁止にしてほしい。タバコを吸っている人の後につくと、ずーっと臭い煙を浴びながら後を行かなくてはならない、喫煙する人にも言い分はあるだろうが、喫煙しない人には煙にもおしも地獄である。そして、火のついたまま平気で道に捨てている。パチンコ屋の前ではよく見かける。</p> |
| <p>ベットの糞を処理せずそのままにしている人が複数いる。そんなマナー向上にも取り組んでほしい。</p> |
| <p>夜自転に乗る人はライトを点けてほしい。自分はちゃんと点けているので前からの人は見えるが、こっちは見えないので事故につながるから考えてほしい。</p> |
| <p>都島防災マップ、水害ハザードマップは区役所でいただけますか？防災セットを役所で販売してほしい。自転車の乗り方マナー教室があればうれしいです。</p> |
| <p>高倉町2丁目で宅配の車が歩道を占拠しているのが気になる。貸し倉庫から小分けしているところだ。</p> |
| <p>路上禁煙地域を増やしてほしい。特に、都島駅、桜宮駅だけでも何とかしてほしい。警察の方からも注意してほしい。</p> |
| <p>横断歩道の白線、一時停止線が消えかかっている道路が多い。内代町の野江3丁目交差点、城北通りの野江4丁目交差点は歩行者専用信号がないので車がノンストップで右折してくるので歩行者が渡れない。大きな交差点には歩行者専用信号をつくってほしい。</p> |
| <p>地震等の際に必要なグズー覧をパンフにして広報誌に折り込む。住民同士の助け合いは重要だがマンションでは難しい。区のほうから管理組合等に働きかける方法はないのか？公的機関からの声掛けがあったほうが動くのではないのか？</p> |
| <p>都島署から3度家屋に設置防犯カメラ映像の確認依頼がありました。各町会にも防犯カメラの設置を増やすことを希望する。一人暮らしの人が増え、空き家も多くなっている。各署よりの訪問時に身分証明書の提示を徹底してほしい。</p> |

| |
|--|
| 防災、防犯について都島区役所の人達に感謝します。 |
| 自転車のマナーが悪い。スマホながら運転が目立つ。ぶつけられて文句を言うと「ごめんって謝っただろうが」と逆切れされた。 |
| 防災スピーカーは音がこだまして何をいっているかわからない。後方の終わりに電話で確認できると知りましたがわざわざする人はいるのでしょうか？ |
| 青色パトロール：車が通り過ぎると同時に印象も消える。学校などで対面講習をするほうがよいと思う。 |
| 自転車マナーが悪い。駐輪のほうに集中されていると思うがマナー向上にもっと対応が必要。 |
| 弱者といわれる立場の人に交通マナーを守らない人が多い。青の時間が短いからか早めに動くのか、マナーに関心がないのか、相手が助けてくれると思っているのか。 |
| 京橋駅付近は飲食店・遊興施設が多く防犯に関しては難しいと思う。 |
| 我が家から1号線にでるまでに歩きタバコの人を多く見る。信号で止まったところでポイ捨てする。 |
| 駅の周りにもっと駐輪場がほしい。 |
| 京橋駅付近で歩きタバコ、バス停でも吸っている。自転車は右を走り、赤信号で止まっている人も少ない。 |
| 青色防犯パトロールの巡回頻度は防犯事案があったときだけですか？もっと多く巡回し、人目に触れる機会が多ければ防犯向上につながると思う。 |
| 都島駅前、桜ノ宮駅前の駐輪場を立体にして充実してほしい。 |
| 淀川や大川に近いので津波による逆流や堤防の決壊が不安。監視カメラの設置増設をしてほしい。 |
| 都島は古い住宅が多く防災面で何か手をうたないと思う。 |
| 歩きタバコをする人が多く子供がいても気がつかない。具体的な罰則がないとやめないのでは。道路の植え込みへのポイ捨てもひどい。 |
| 自転車もスマホを見ながら、通話しながら大声で歌いながら（深夜）、啓発ではとまらないのでは？と思う。 |
| 京橋商店街や駅周辺での歩きタバコが多すぎる。小さな子供やペットなどが危ないです。自転車も商店街でスピードを出しているものが多い。あの商店街は自転車は降りるのがマナーです。当たり前のようにチャイムを鳴らしている大人が多すぎます。 |
| 都島駅から北側のエリアは歩きタバコ、自転車に乗りながらタバコをよく見ます。副流煙を吸わされるのは迷惑です。小さな子供連れも多いエリアなので余計気になります。 |
| 防災無線の近くに住んでいますが、何を言っているのか聞き取りづらいです。声が反響するのか、音量で調節する、女性だけでなく男性の声で同じ内容を流すなどの工夫をお願いします。また、無線の内容をアプリなどでも確認出来る様にしてください。 |
| 総合医療センターの隣の公園が医療センターの患者の喫煙スペースとなっている。医療センターに強く管理させるか、行政として公園内の喫煙を徹底させてください。ベンチに紙で「禁煙」ではダメです。 |
| 外灯が増えたらうれしいです。 |
| 自転車スマホは禁止。毎日でも、巡視の火を決めてでもおまわりさんに注意してほしい。昨年、信号待ちしていて自転車がぶつかってきた。声を掛けたがスピード出して逃げました |
| 防災アナウンスが全く聞き取れない。ハザードマップを住民に配ってほしい。 |
| 自転車のマナーが悪いので単車も自転車も止めました。UBAや子供を乗せた母親が凄い勢いで本通り交差点周りを来ることがありいつか事故が起きると感じる。 |
| 京橋駅周辺に1年すんでいるが路上喫煙禁止区域と知らなかったが歩きタバコが多い。 |
| 京橋商店街は自転車走行を強く禁止してほしい。何度も接触されて迷惑。また、野鳥に餌やりをする中年男女が数名いるが、禁止項目なので是非取り締まりしてほしい。 |
| 歩きタバコが多い。自転車のマナーも良くないので歩行者が危険。警察と連携し交通ルール遵守を徹底してほしい。 |
| 自転車で歩道を走りマナーが悪い。居酒屋の客引きが信号を無視して横断歩道に陣取ってマナーが悪い。 |
| 若い人の自転車の斜め横断、信号無視を厳しく取り締まってほしい。 |
| 路上駐車の徹底 |
| 防犯カメラの設置を広範囲にしてほしい。淀川も近いのもっと積極的に防災対策を回覧板で呼びかけてほしい。地域一丸となって取り組みができればいざという時冷静な対応が取れるかもしれない。 |

| |
|---|
| 警察官のパトロールはよく目にするが車・バイクだけでなく自転車や歩行者にもっと声か消してほしい。 |
| ぼったくり禁止条例で悪質な呼び込みをなくしてほしい。 |
| 駐輪場を増やす。京橋駅付近に交番設置。駅周辺の見通しが悪い。 |
| 歩道を走る危険自転車の取締りを徹底してほしい。 |
| 南海トラフ地震の件は家族も職場の人も意識が非常に低い。自治体から非常時に備える訓練とかを積極的にやってほしい。 |
| 原付バイクの夜の爆音、日中は無茶な運転をするバイク、が多い。自転車ばかりでなくバイクも注目してほしい。 |
| 建物の壁の落書きがなくなればよい。 |
| 区全体を路上禁止区域にしてほしい。啓発活動や清掃ボランティアでは根本的解決にならない。 |
| 駐車禁止など車の違反をもっと取り締まってほしい。小さい子供がいるので安全、住みやすい街になってほしい。 |

②広報誌・ホームページ・SNS (26件)

| |
|--|
| 目が弱ってきて、スマートホンで市のホームページを見ることが出来ない。大事なことは広報誌に印刷してもらえるとありがたい。 |
| スマホやパソコンを使用しないので「広報誌」は貴重な情報源です。紙の媒体が減少していることは十分承知しているが是非とも続けてほしい。私もデジタル機器になれようと勤めたいと思います。 |
| 都島区内を歩くといろいろな昔の記念碑を目にします。区に特化した都島今昔を広報誌で紹介してほしい。 |
| 今回のアンケートで初めてフェイスブックを見るとアンケートのことが書いてあったので記入しました。何かあれば知りたいことが分かるホームページやフェイスブックがあれば役立ちます。日々の情報は回覧板、広報誌でみているが、老人にはフェイスブックなどはまだまだ難しいと思います。 |
| 高齢者には個人宛に大きな文字が良い。紙面にしないと困る |
| これからもLINEで都島区の子育てイベント情報を沢山知らせてください。 |
| 高齢者ボランティアにどのようなことがありますか？また、利用する方法は？ |
| 区ごとの情報を検索アプリとかで見られたらラク。情報更新の都度知らせてくれる機能があれば便利。スマホで自動的に情報を知れたら自然に知識として身につく。 |
| 都島区がフェイスブックやツイッターなどのSNSを持っていることを知らなかった。区民に周知してもらえよう、更なる情報発信を期待しています。 |
| 誌面、SNSだけでなく区役所の施設を通じ、講演会・講習会等の開催による周知徹底、啓蒙活動が肝要。パソコン、スマホなどに不得手な年代の人への対応が身近に感じられない。 |
| 子育てに関する記事をふやしてほしい。 |
| 広報誌はいつも楽しく読んでいる。「歩いて発見」は本当に発見です。区出身の柿谷選手が名古屋へ移籍しましたが、スポーツの記事も掲載してほしい。 |
| 毎回広報誌を待っています。今後とも内容の充実を期待しています。 |
| 区の広報アナウンスの声がエコーが効きすぎて内容が分からない。 |
| 今後外国人が多くなると思うので外国の人にもわかりやすい広報誌ホームページにして住民という枠でなく人間として住みやすい大阪にしてください。 |
| 都構想の前に配布された大阪市の広報は都構想のデメリットには触れず都合の良いことばかり、毎号結構な誌面を取っていた。特定の政党に偏らずメリット、デメリットの両方を紹介してほしい。広域行政一元化には反対。広域行政一元化は「大阪市の廃止。特別区の設置」を反故にするものでこのような財産贈与・権限委譲・事務委託は地方自治会で担保されておらず法律違反である。 |
| 広報誌で「住みます芸人」で吉本興業の芸人を住ませりポートさせていたが、お笑いも大阪の文化であると主張するなら松竹芸能の芸人さんも採用すべき。 |
| 区の広報誌は毎月しっかり読ませていただいています。色々な情報が入っていてとても助かります。ありがとうございます。 |
| 広報誌の子育て情報をいつも見えています。今後も役立つ情報を楽しみにしています。 |
| スマホに頼った方策の見直しを。スマホがない、使えない人が大勢います。その人達こそ色々な情報が必要です。 |
| 最近都島へ。まだよく分からないので一人暮らしの安心コミュニティを教えてください。そのようなシステムを作ってほしい。 |

広報の表紙写真が毎回楽しみ。
広報誌はほとんど子育ての記事ばかりで、途中で見るのをやめてしまう。お年寄りや一人暮らし貧困者の情報が小さくて見逃しやすい。コロナの情報も少ない。SNSは遣っているが見ていない。Twitterはリツイートが多く都島区に関する発信が少ない。

③職員の対応窓口サービスについて（5件）

区役所の職員の対応が悪い。部署が違うと言われ案内もされなかった。
去年の10万円至急の問い合わせに「知りません」では困ります。政府が具体的に動いていなかったけど。
妻が「障害福祉担当窓口の対応が不親切」だとのこと。手続きに来ているのに資料だけ渡して返すのは良くないと思います。もう一度資料を家で書き、役所に行かなければならず二度手間です。
転入時に区役所での手続き時にハザードマップなどを渡してくれなかった。他区では転入手続き時に生活に役立つ資料をくれました。言ったら貰えたのかもしれないが普段からインターネットなどで必要な情報は探しているが高齢者には分かりにくいしハザードマップなどは絶対に配布してほしい。
区役所は申請手続きの場所という感じで用がなければ行かない。もっと、気軽に相談できる身近な存在であってほしい。

④市政区政について（13件）

自治会の役員を経験したが、会議の中ではもの申しにくく、不明な事柄が多く、自治会の中心は役所であることがわかり、何のために自治会費を払っているのかと、不信に変わりました。子育て世代の人がほとんどおられず意見が偏っていると思いました。
町内会に入っていないマンション等は町会自治会などの掲示物がないので区からの町会・自治会への掲示物を未入会の所へもお願いしては動ですか（区祭りのことなどここ数年分分かりません）。
支援センターなど自転車がないと利用しにくい場所にあり、もう少し近くに気軽に利用できたらと思う。
役所内の非正規でない職員の対応・態度が余り好感がもてないときがある。
飲食店や販売店の多いいくでは街の店舗の強さも必要と感ずるので、行政と店舗がメッセージをだすことも良いと思う。
コロナの感染者数は大阪のどの方面で発生しているのかがわからない。せめて、大阪市内の東西南北や、区単位で発表すれば危険度がわかり活動しやすい（個人情報や差別の発生が危惧されるためか？）。政府や行政の緊急事態宣言は発令後も拡大し、一向に成果が出ていない。もう少し、具体的に内容で発表してはどうか？
区役所へ必要書類の受け取りなどで行くが、10年前に比べて非常に親切になって感謝しています。
都島防災マップ、水害ハザードマップは区役所でいただけますか？防災セットを役所で販売してほしい。自転車の乗り方マナー教室があればうれしいです。
お年寄りや本当に困っている人を助けられる町であってほしい。学童支援をもっとしてあげるべき。カラスがゴミを荒らすことに何か対策できればよい。5世帯以上集まるゴミ収集場だけでなく区民1世帯にも防鳥ネットがほしい。
色々とされていて感心しました。今後もしっかり対策を取ってください。
電池などの回収BOXを24時間利用できるようにしてほしい。
区全体を路上禁止区域にしてほしい。啓発活動や清掃ボランティアでは根本的解決にならない。
夜だけでなく総長出勤時に怖い思いをしたのでパトロールしてほしい

⑤区民アンケートについて（4件）

全てにおいて区民自身に確認させるという対応に問題がある。今回の内容を一覧にしたものを各家庭に年一回配布するなど区役所がもっと活動すべきである。
ボールペンか鉛筆かどちらがよいかははっきり書いた方がよいと思う。
区民アンケートなるもの本当にあったのか・・・というのが正直な乾燥です。
このような区民アンケートを実施されることは区民の状況が少しでもわかることでよいと思います。

| |
|---|
| ⑥その他（9件） |
| 最近増えてきている集合住宅の若者のPRを、ボランティアでは限界がありどうにもできないと思う。 |
| イベント等は時間や一人でも参加しやすいものなら参加したい気持ちがあります。 |
| この大変なコロナの時代、ご苦労様です。役所の方々の力が頼りです。私達個人も一人一人責任を持って行動する世にしなければなりません。かわいい孫子のためにも大人が良い見本を見せなければなりません。皆で力を合わせて乗り切っていきましょう。今後ともよろしくご発信ください。 |
| 大阪へ嫁いで70年。旭区に50年。都島区に20年。充実した人生でした。都島友渚町の（ゆうあい都島）での生活六年目に入り安定した毎日を送っております。コロナ禍の中、外出ができず早く終息するのを待っております。 |
| 車で気軽に行けるように駐車料金をとるのはやめてほしい。駐車場をもっと広くしてほしい。 |
| 図書館を建て直してほしい。本の数が少ない。本を読むスペースもない。2Fなどの空いているスペースを開放して充実してほしい。 |
| 日頃の地域活動に感謝しています。ボランティアの皆様のがんばっておられる姿を見るとありがたく頭が下がります。 |
| 緑をもっと増やしてほしい。 |
| YouTubeやインスタも造ってほしい。 |
| 区役所に手続きには行きますが、その他のことで行くことがないので… |

※原則として、ご記入頂いた内容をそのまま反映しています。

【お問合せ先】都島区役所総務課（政策企画）〒534-8501 都島区中野町 2-16-20

電話：06-6882-9989 ファックス：06-6882-9787